

# 2023年度第3四半期決算

2024年2月14日

SOMPOホールディングス株式会社

# 目次

エグゼクティブ・サマリー	3	資産ポートフォリオ・資産運用損益	29
トピックス①国内損保事業	4	（参考）海外自然災害	30
トピックス②海外保険事業	5	（参考）決算数値	31
<b>連結業績</b>		<b>国内生保事業</b>	
連結の業績変動要因	7	国内生保事業（ひまわり生命）の業績変動要因	33
（参考）2023年度通期業績予想修正のブレークダウン	8	新契約年換算保険料・保有契約年換算保険料	34
（参考）決算数値	9	事業費	35
<b>事業別詳細</b>		資産ポートフォリオ・資産運用損益	36
<b>国内損保事業（損保ジャパン）</b>		（参考）決算数値	37
国内損保事業（損保ジャパン）の業績変動要因	11	（参考）修正純資産のコンバージョン	38
保険引受利益	12	<b>介護・シニア事業</b>	
正味収入保険料	13	介護・シニア事業の業績変動要因	40
コンバインド・レシオ	14	売上高・営業利益率・修正利益	41
損害率	15	（参考）入居率・NDソフトウェアの業績概況	42
事業費率	16	<b>ERM</b>	
資産運用損益	17	ESR（99.5%VaR）	44
（参考）自動車保険関連の指標	18	（参考）実質自己資本・リスク量のブレークダウン	45
（参考）火災保険、新種保険関連の指標	19	（参考）資産運用ポートフォリオ（グループ連結ベース運用資産）	46
（参考）国内自然災害	20	（参考）経営数値等	47
（参考）資産ポートフォリオ	21		
（参考）決算数値	22		
<b>海外保険事業</b>			
海外保険事業の業績変動要因	24		
（参考）純利益へのコンバージョン	25		
収入保険料（SIコマースナル）	26		
コンバインド・レシオ（SIコマースナル）	27		
SIコンシューマー業績概況	28		

## 為替レート（米ドル/円）

2023年度 第3四半期	141.83円（対前年：+6.9%）	2023年12月末
	– 海外※ 149.58円（対前年：+3.3%）	2023年9月末
2023年度 通期業績予想	149.58円	2023年9月末

※ 海外保険事業

2023年度第3四半期実績

**通期業績予想に対して  
高進捗**

- ・**修正連結利益は2,426億円（対前年+1,591億円）**、進捗率は86%と高進捗
- ・海外保険の保険引受・資産運用両面での利益拡大、国内生損保の前期コロナ支払等の剥落が寄与
- ・**連結純利益は3,230億円（対前年+3,701億円）**、株式売却の影響もあり進捗率は99%

2023年度通期業績予想

**通期業績予想は据え置き**

- ・国内損保は引き続き自動車発生損の注視が必要、**自然災害および大口事故は概ねインライン**で進捗
- ・海外保険は、現地通貨ベースでは計画を上回る水準で着地する見込
- ・その他の事業は通期に対して巡航速度で進捗、**現時点で通期予想2,800億円の目線は変えず**

資本政策

**HD保有株式を売却、  
資本効率改善へ**

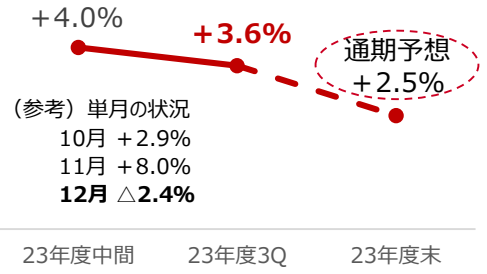
- ・バランスシートマネジメントの観点からHD保有株式を一部売却（**利益影響は600億円程度**）
- ・今回創出した資本を有効活用し、更なる資本効率の改善を図る（**ESR影響は9月末対比+4pt**）
- ・投資家層の拡大、流動性の向上を目的に、**2024年3月末を基準日とした株式分割（1:3）を実施**

# トピックス①国内損保事業

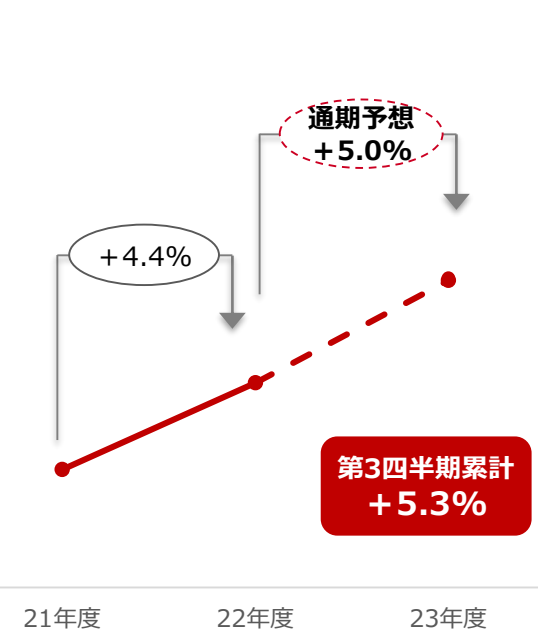
## 自動車保険の発生損は予想比やや増加も落ち着いた傾向

- 事故率は対前年+3.6%も、12月単月では△2.4%と減少の兆し
- 修理費単価は対前年+5.3%、通期予想5.0%からインラインで進捗

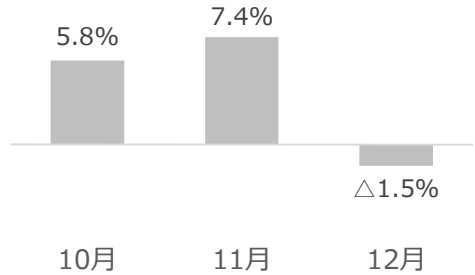
＜自動車保険事故率＞  
(対前年累計増加率)



＜修理費単価上昇率※2＞  
(対前年度増加率)



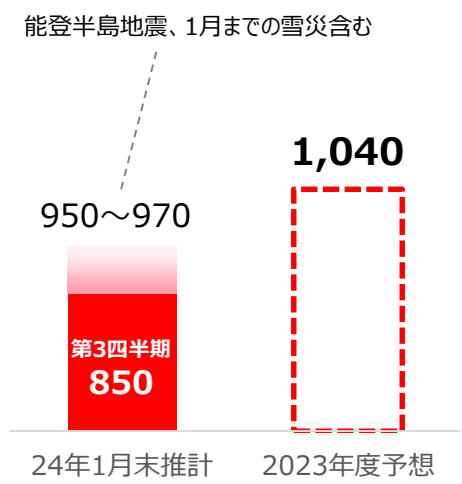
＜自動車保険事故受付件数※1＞  
(対前年同月増加率)



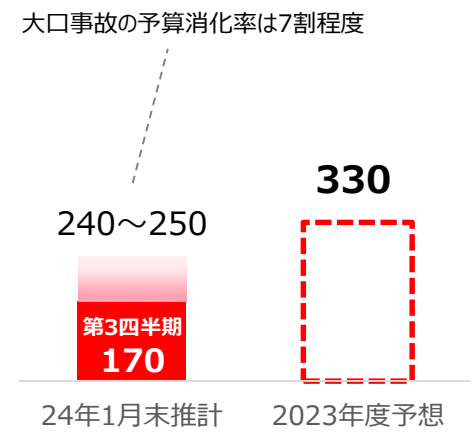
## 自然災害・大口事故は引き続き予算の範囲内

- 自然災害は予算枠内で順調に推移
- 大口事故は現時点で期間進捗を下回る水準で良好に推移

＜自然災害＞  
(億円)



＜大口事故＞  
(億円)

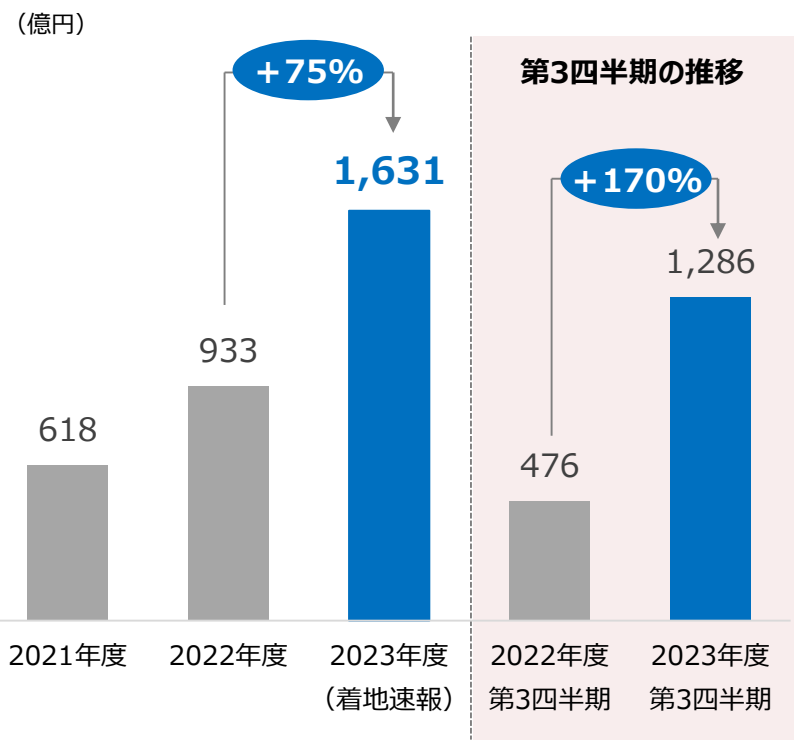


※1 事故受付件数は発生損害が一定額を超過した自然災害に係る件数を除く、無責の事故受付件数含む  
 ※2 車両（自然災害影響を除く）と対物の合算

# トピックス②海外保険事業

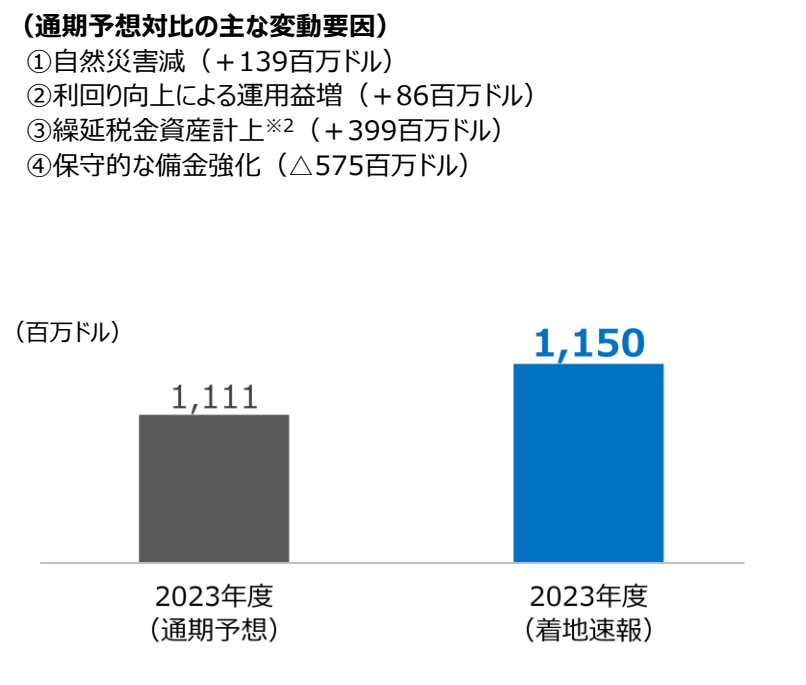
## 2023年度の修正利益※<sup>1</sup>は過去最高益

- 修正利益は過去最高益の1,631億円、対前年で+700億円程度の増益を達成



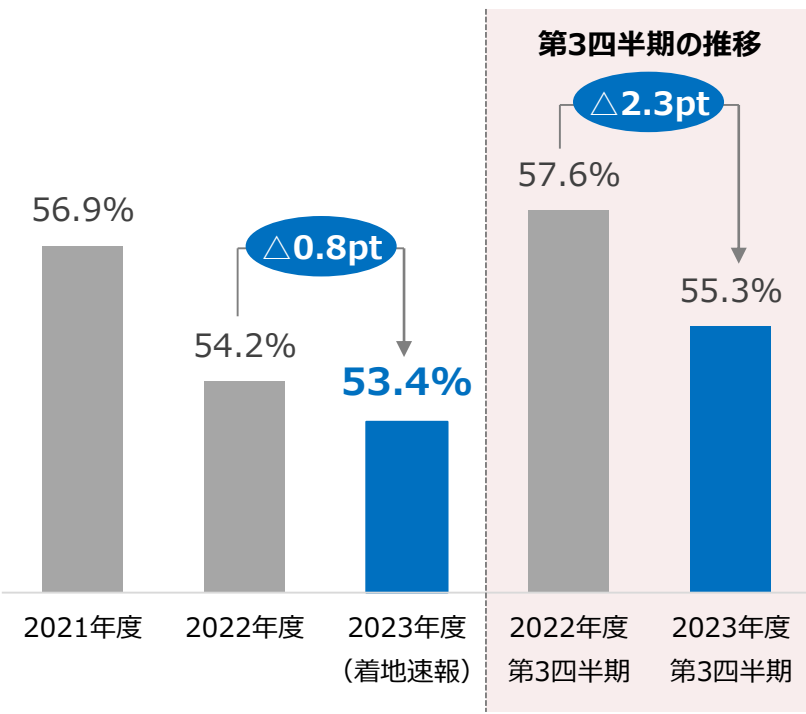
## ドルベースの修正利益は、予想を超過

- ドルベースの修正利益は1,150百万ドルと**予想を39百万ドル超過** (対前年+68%)
- 当期に備金強化、次年度以降の利益安定性向上



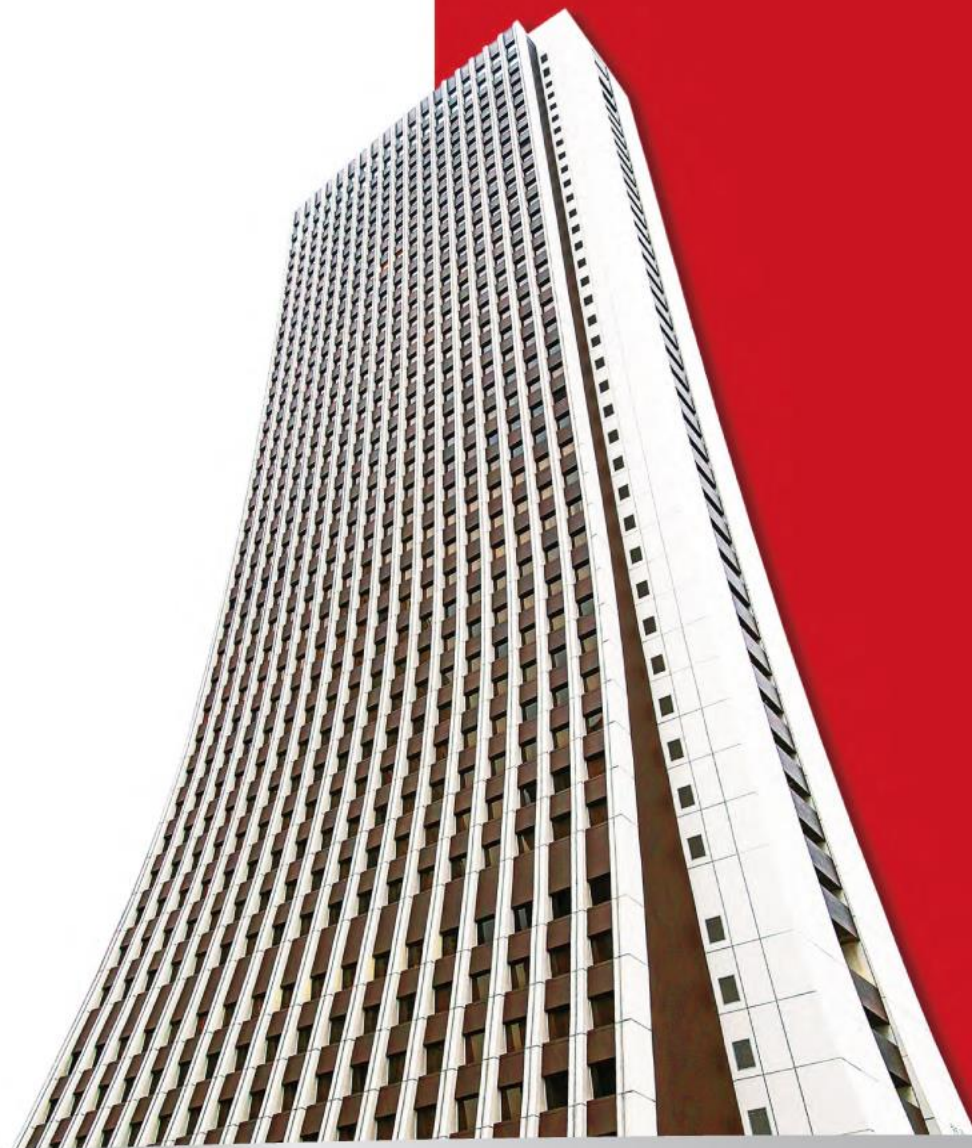
## SIのベース損害率※<sup>3</sup>は順調に改善

- 損害率は対前年△0.8ptの**53.4%に改善**
- レートアップや適切なアンダーライティングが寄与



※1 海外保険事業の2023年度着地速報は未監査であり、数値が変更となる可能性あり。確定実績は2024年5月のSOMPOホールディングスの通期決算発表時に公表予定、為替レート(米ドル/円)は141.83円(以下同様)  
 ※2 2025年からのバミューダでの法人税導入(15%)に際して認められる調整項目であり、将来の支払法人税の減額効果を有する  
 ※3 SI商業の損害率(当年度発生、除く農業保険、自然災害、新型コロナ影響)。2023年度には、Sompoシゴルタ、Sompoセグロス、アジア各社の商業事業を含む

# 連結業績

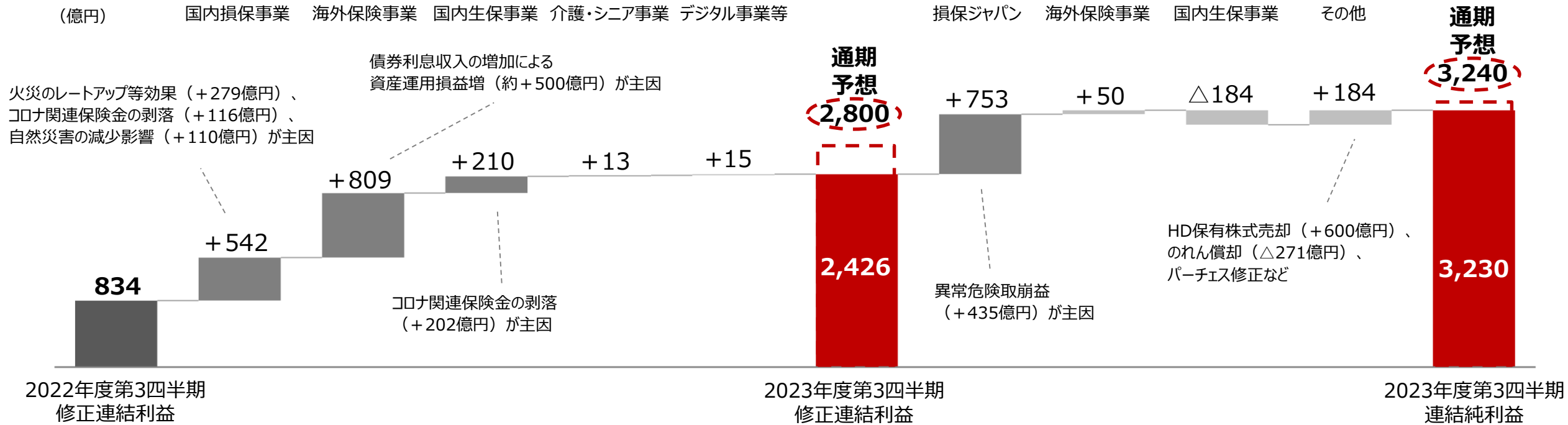


# 連結の業績変動要因

- 2023年度第3四半期の修正連結利益は、各事業ともに対前増益を確保し、+1,591億円増益の2,426億円
- 2023年度通期の修正連結利益は、2,800億円の予想を据え置く

## 修正連結利益の増減要因（税後）

## 連結純利益へのコンバージョン※1



	国内損保事業	海外保険事業	国内生保事業	介護・シニア事業	デジタル事業等	修正連結利益	連結純利益
2022年度第3四半期	208億円	476億円	89億円	43億円	17億円	834億円	△471億円※2
<b>2023年度第3四半期</b>	<b>750億円</b>	<b>1,286億円</b>	<b>299億円</b>	<b>56億円</b>	<b>33億円</b>	<b>2,426億円</b>	<b>3,230億円</b>
<b>2023年度通期（予想）</b>	<b>580億円</b>	<b>1,680億円</b>	<b>400億円</b>	<b>70億円</b>	<b>30億円</b>	<b>2,800億円</b>	<b>3,240億円</b>

※1 連結純利益は「親会社株主に帰属する当期純利益」を指す（以下同様）、SI現地会計においてIFRS9およびIFRS17を適用する影響で、海外の有価証券未実現損および保険負債の時価変動を連結純利益にて認識、修正連結利益には影響なし

※2 上記会計基準の遡及適用影響△847億円（責任準備金+41億円、支払備金+752億円、有価証券に係る時価変動△1,640億円）を含む





## (参考) 決算数値

(単位：億円)	第3四半期業績			通期業績		
	2022年度 第3四半期※1	2023年度 第3四半期	増減	2022年度※1	2023年度 (予想)	増減
連結経常収益	36,312	38,485	+2,173	45,258	-	-
正味収入保険料	29,961	29,569	△391	36,707	37,800	+1,092
生命保険料	2,353	2,317	△36	3,167	3,370	+202
連結経常利益	△391	4,324	+4,715	495	4,510	+4,014
損保ジャパン	394	1,883	+1,489	1,249	2,630	+1,380
海外グループ会社	△392	1,754	+2,147	153	2,165	+2,012
ひまわり生命	△57	182	+239	29	228	+198
SOMPOケア	59	77	+17	79	98	+19
その他・連結調整等※2	△395	427	+822	△1,016	△612	+403
連結純利益	△471	3,230	+3,701	264	3,240	+2,975
損保ジャパン	338	1,516	+1,177	1,080	2,110	+1,029
海外グループ会社	△431	1,337	+1,768	90	1,743	+1,653
ひまわり生命	△47	115	+162	9	153	+144
SOMPOケア	39	51	+11	54	65	+10
その他・連結調整等※2	△370	210	+580	△970	△832	+137
修正連結利益	834	2,426	+1,591	1,522	2,800	+1,277
国内損保事業	208	750	+542	320	580	+259
海外保険事業	476	1,286	+809	933	1,680	+746
国内生保事業	89	299	+210	178	400	+221
介護・シニア事業	43	56	+13	59	70	+10
デジタル事業等	17	33	+15	30	30	△0

※1 2023年度からSIにおいてIFRS新基準（IFRS9およびIFRS17）を適用したことによる遡及修正、修正利益は定義変更なし

(単位：億円)	2022年度第3四半期	2022年度通期
連結経常利益	△958	△730
連結純利益	△847	△647

※2 下記を含む

(単位：億円)	2022年度第3四半期	2023年度第3四半期
のれん償却	214	244
パーチェス修正（税前）	32	31
パーチェス修正（税後）	23	22

# 事業別詳細

## 国内損保事業（損保ジャパン）

10

海外保険事業

23

国内生保事業

32

介護・シニア事業

39

ERM

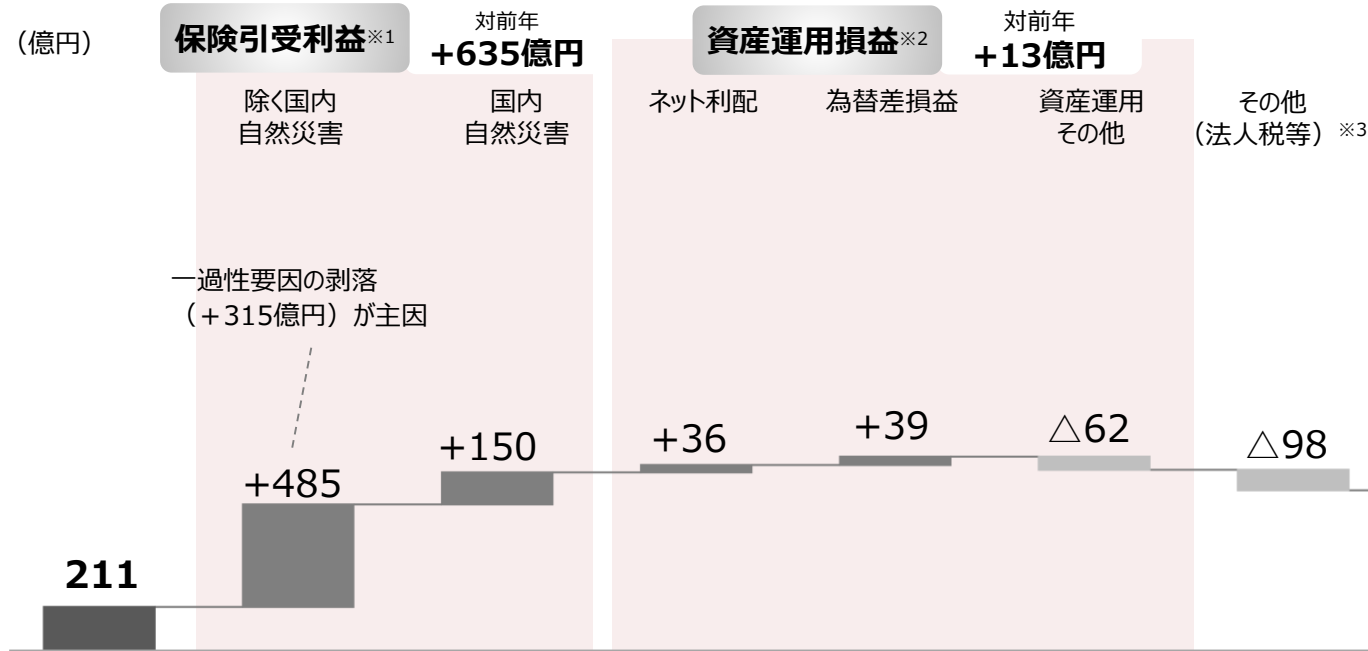
43



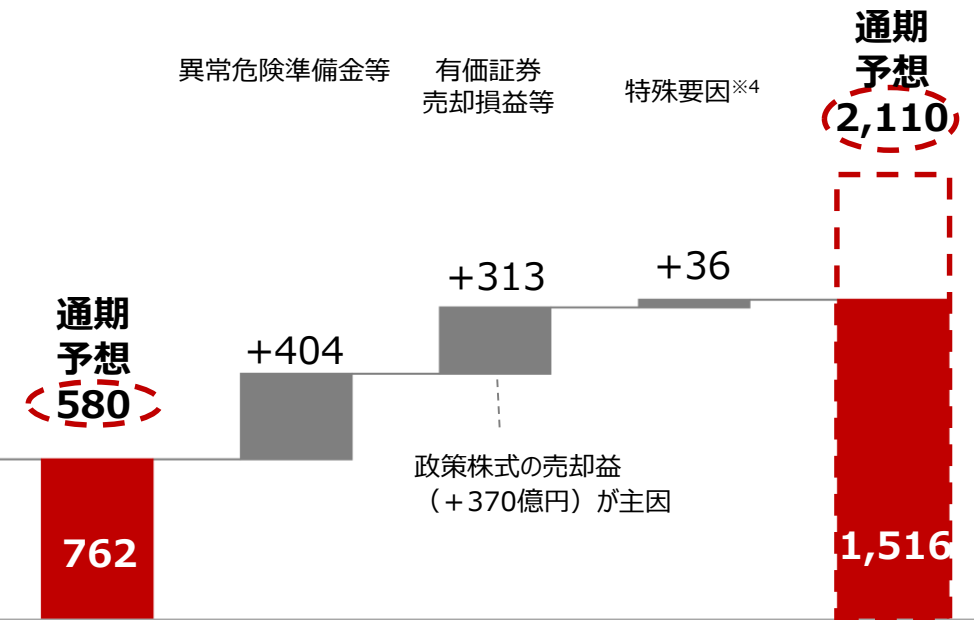
# 国内損保事業（損保ジャパン）の業績変動要因

- 前年度の自然災害やコロナ影響、大口事故などの一過性要因が剥落し、2023年度第3四半期の修正利益は+550億円増益の762億円
- 2023年度通期の修正連結利益は、580億円の予想を据え置く

## 修正利益の増減要因



## 純利益へのコンバージョン



2022年度第3四半期  
修正利益

2023年度第3四半期  
修正利益

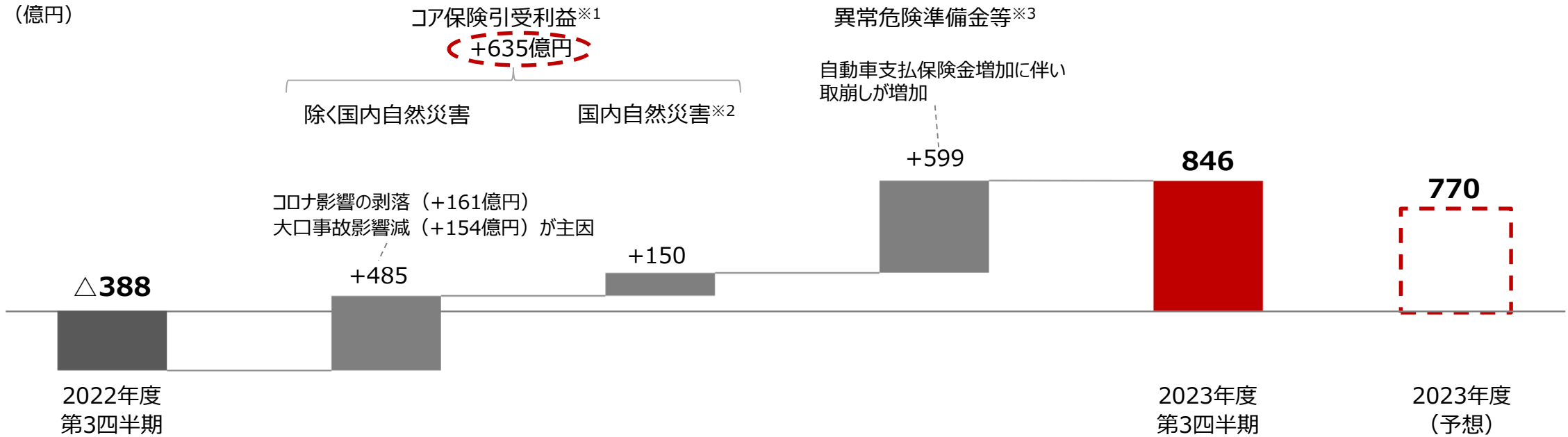
2023年度第3四半期  
純利益

- ※1 保険引受利益から異常危険準備金・危険準備金・自然災害責任準備金に係る影響を控除  
 ※2 資産運用損益から有価証券売却損益等に係る影響を控除  
 ※3 事業費（除く保険引受）・その他経常収支・その他特別損益・法人税等  
 ※4 子会社配当・自然災害責任準備金影響・株式先物損益等

# 保険引受利益（損保ジャパン）

- 前年度のコロナ影響や大口事故影響の剥落を主因に、2023年度第3四半期のコア保険引受利益は対前年+635億円

## 保険引受利益の増減要因



	コア保険引受利益※1※2			異常危険準備金等※3	保険引受利益
	(除く国内自然災害)	(国内自然災害)			
2022年度第3四半期	△417億円	582億円	△1,000億円	28億円	△388億円
<b>2023年度第3四半期</b>	<b>217億円</b>	<b>1,067億円</b>	<b>△850億円</b>	<b>628億円</b>	<b>846億円</b>
<b>2023年度(予想)</b>	<b>154億円</b>	<b>1,194億円</b>	<b>△1,040億円</b>	<b>615億円</b>	<b>770億円</b>

※1 保険引受利益から異常危険準備金、危険準備金、自然災害責任準備金に係る影響を除いたもの

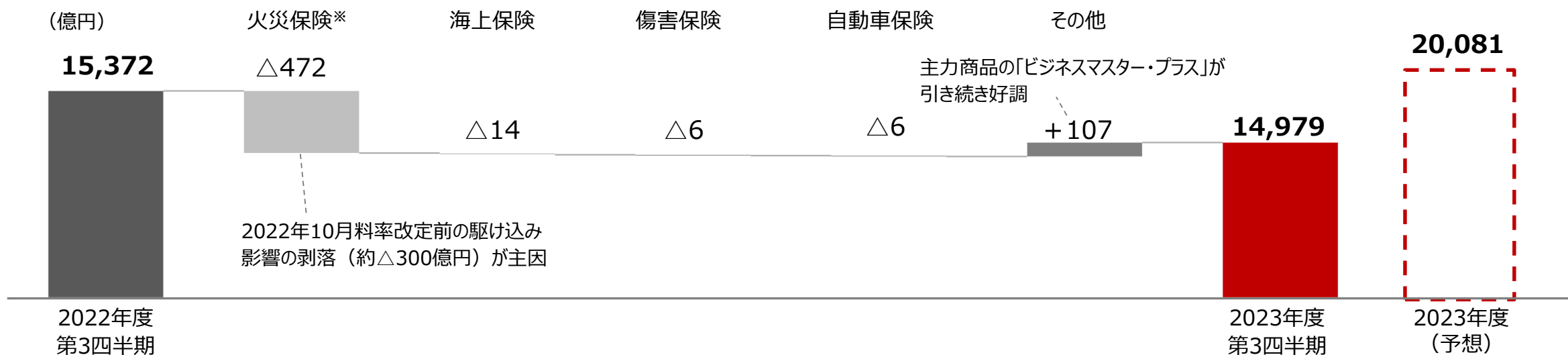
※2 第3四半期決算では支払備金を簡便法で算出しており、国内自然災害に係る発生損害額を集計していないため、2023年12月末時点における足元の状況を反映した概算値を記載

※3 異常危険準備金、危険準備金、自然災害責任準備金

# 正味収入保険料（損保ジャパン）

- 2023年度第3四半期の正味収入保険料（前年度の火災保険駆け込み影響を除く）は、概ね前年度と同水準の1兆4,979億円
- 収益性を踏まえた火災保険の一部引受厳格化の影響を新種保険の増収でオフセット

## 正味収入保険料（除く自賠責・家計地震）の増減要因



	火災*	海上	傷害	自動車	その他		合計 (除く自賠責・ 家計地震)	合計
					うち賠償責任			
2022年度第3四半期	3,057億円	422億円	1,194億円	8,096億円	2,600億円	1,294億円	15,372億円	16,942億円
2023年度第3四半期	2,585億円	408億円	1,188億円	8,089億円	2,707億円	1,294億円	14,979億円	16,468億円
2023年度(予想)	3,797億円	505億円	1,546億円	10,757億円	3,475億円	1,597億円	20,081億円	21,890億円

### 参考

<営業成績保険料（1月累計、速報）>

一般計  
(除く自賠責)

対前年

+0.5%

<自動車ノンフリート継続率>

1月速報

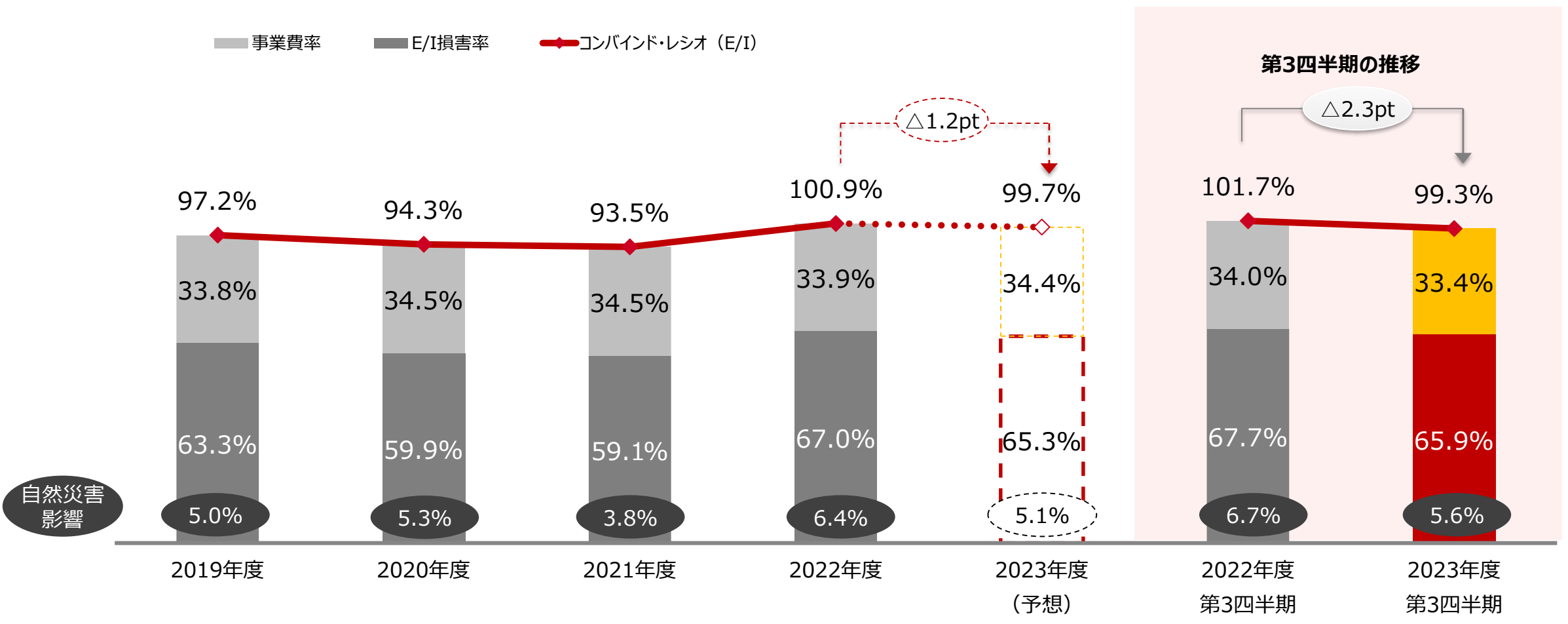
91.2%

前年度の継続率レンジ内で推移

# コンバインド・レシオ (損保ジャパン)

- 自然災害影響の減少を主因に、2023年度第3四半期のコンバインド・レシオは2.3pt改善の99.3%

## コンバインド・レシオ (E/I) ※ (除く自賠責・家計地震)

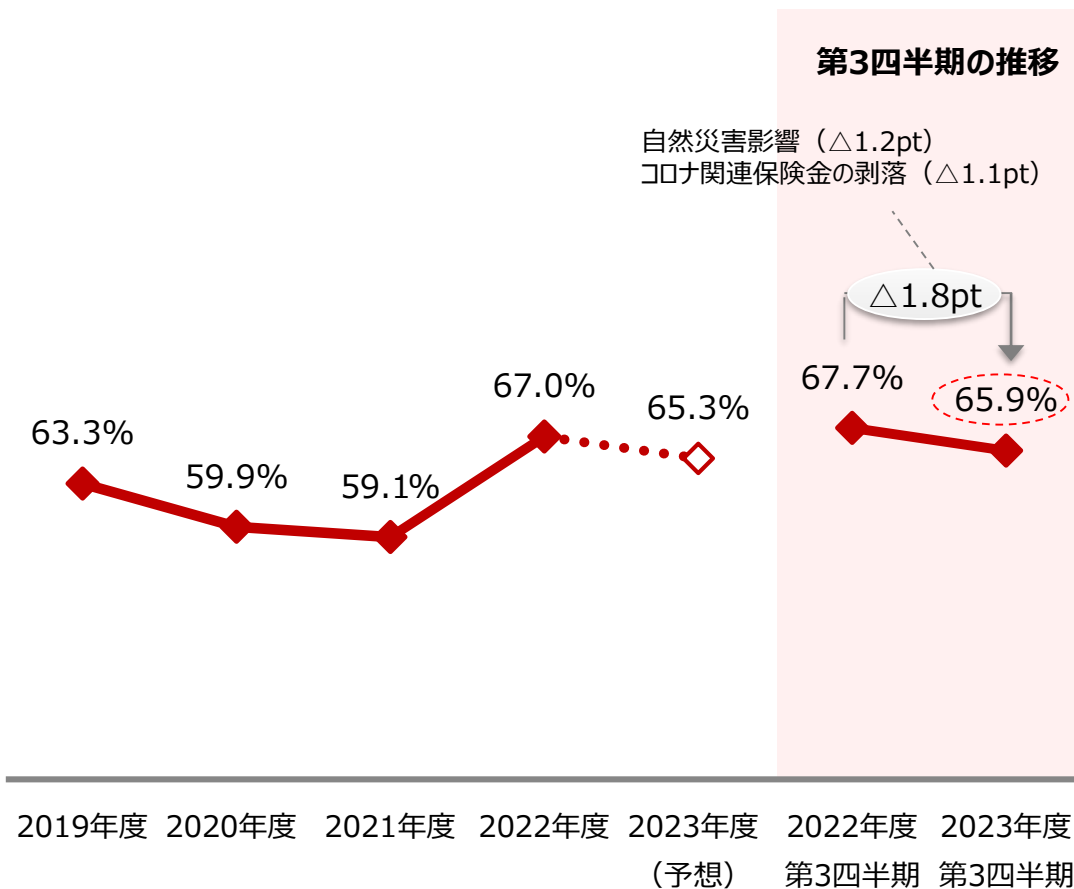


※ E/I損害率 + 正味事業費率 (以下同様)

# 損害率（損保ジャパン）

- 自然災害影響およびコロナ関連保険金の剥落を主因に、2023年度第3四半期の損害率は1.8pt改善

## E/I損害率（除く自賠責・家計地震）の推移



## 種目別E/I損害率

	2023年度第3四半期		2023年度
	実績	増減	(予想)
火災（除く家計地震）	68.0%	△21.7pt	68.3%
海上	65.0%	+15.9pt	71.3%
傷害	53.4%	△8.7pt	53.5%
自動車	69.1%	+4.9pt	66.3%
その他	59.3%	△1.6pt	62.7%
合計（除く自賠責・家計地震）	65.9%	△1.8pt	65.3%

(主な増減要因) 火災：自然災害影響 (△10.4pt)、大口事故 (△7.8pt)  
 傷害：コロナ関連保険金の影響 (△10.7pt)  
 自動車：事故件数増加・修理費単価の上昇等 (+3.4pt)、自然災害影響 (+0.7pt)  
 大口事故影響 (+0.6pt)

## (参考) 種目別W/P損害率

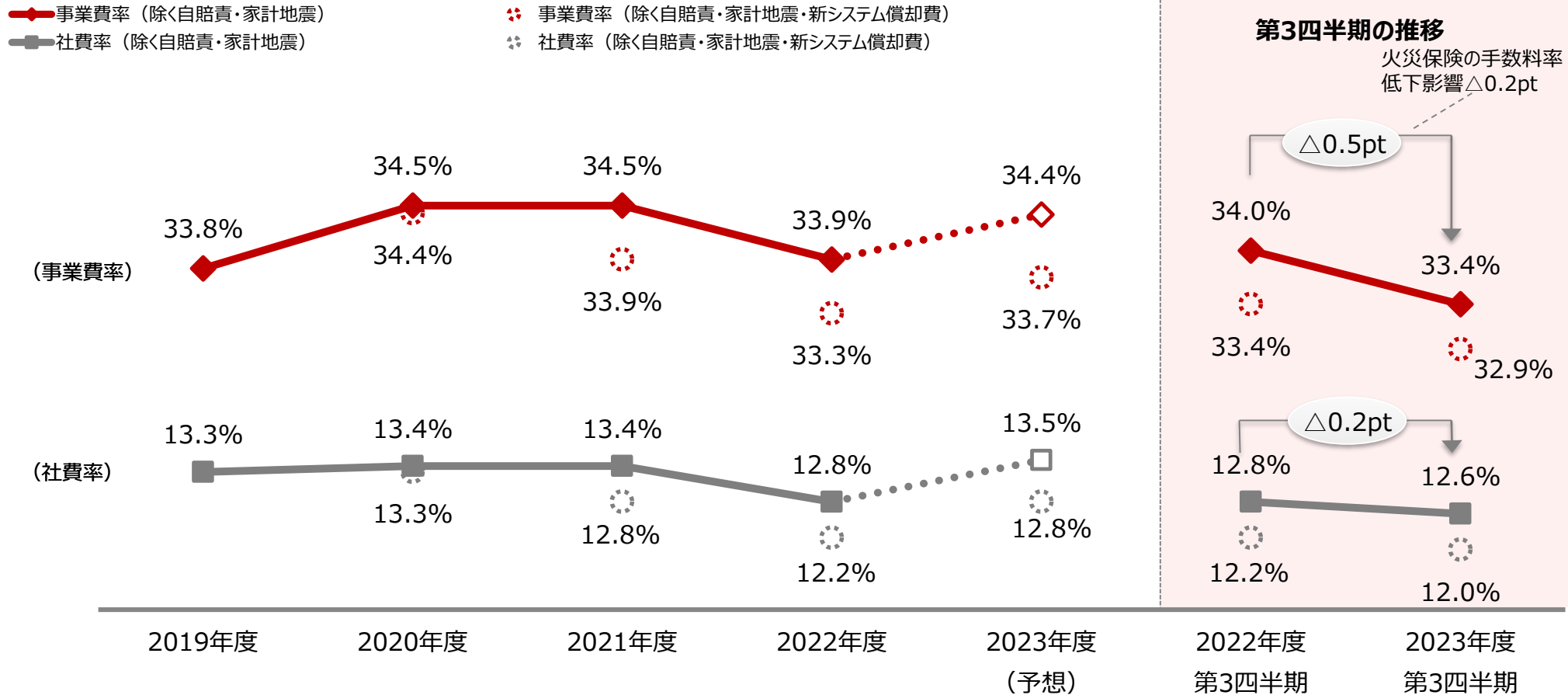
	2023年度第3四半期		2023年度
	実績	増減	(予想)
火災（除く家計地震）	82.6%	+10.3pt	73.7%
海上	54.5%	+14.5pt	60.9%
傷害	52.6%	△8.5pt	55.0%
自動車	65.2%	+5.3pt	64.1%
その他	55.7%	△0.8pt	61.2%
合計（除く自賠責・家計地震）	65.2%	+3.9pt	64.6%

※ 2023年度第3四半期の外貨建支払備金の為替影響（繰入額）：42億円

# 事業費率（損保ジャパン）

- 火災保険の商品改定に伴う代理店手数料率の低下を主因に、2023年度第3四半期の事業費率は0.5pt改善

## 事業費率・社費率※（除く自賠責・家計地震）の推移



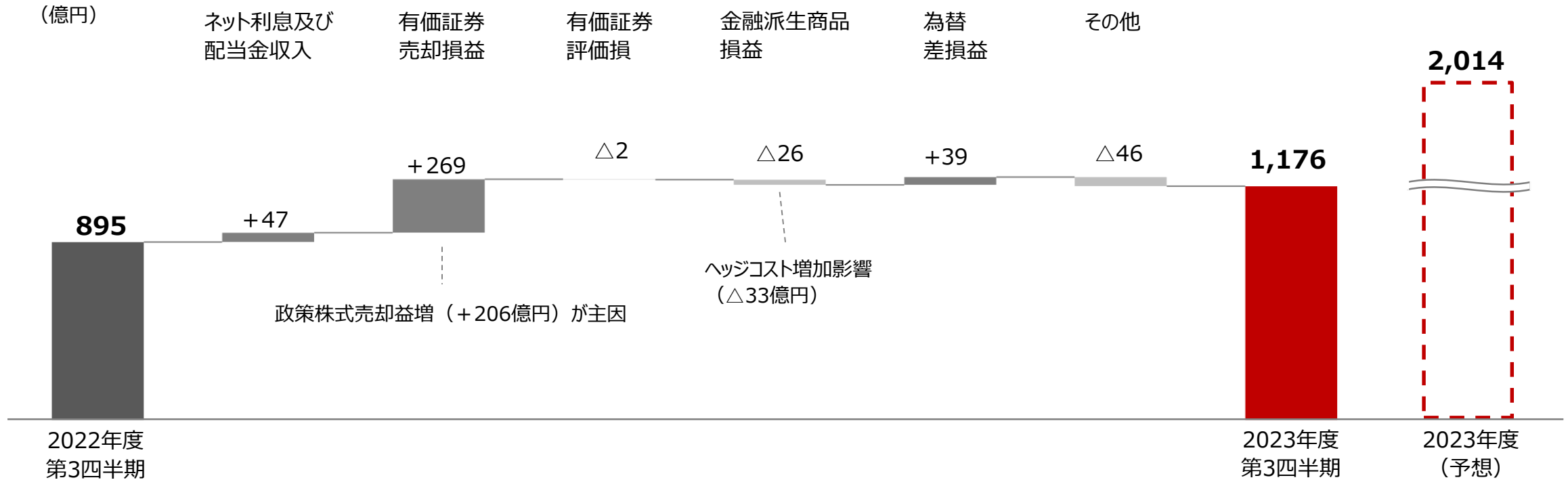
※ 保険引受に係る営業費および一般管理費の正味収入保険料に対する比率



# 資産運用損益（損保ジャパン）

- 2023年度第3四半期の資産運用損益は、政策株式売却益の増加を主因に+281億円増益の1,176億円

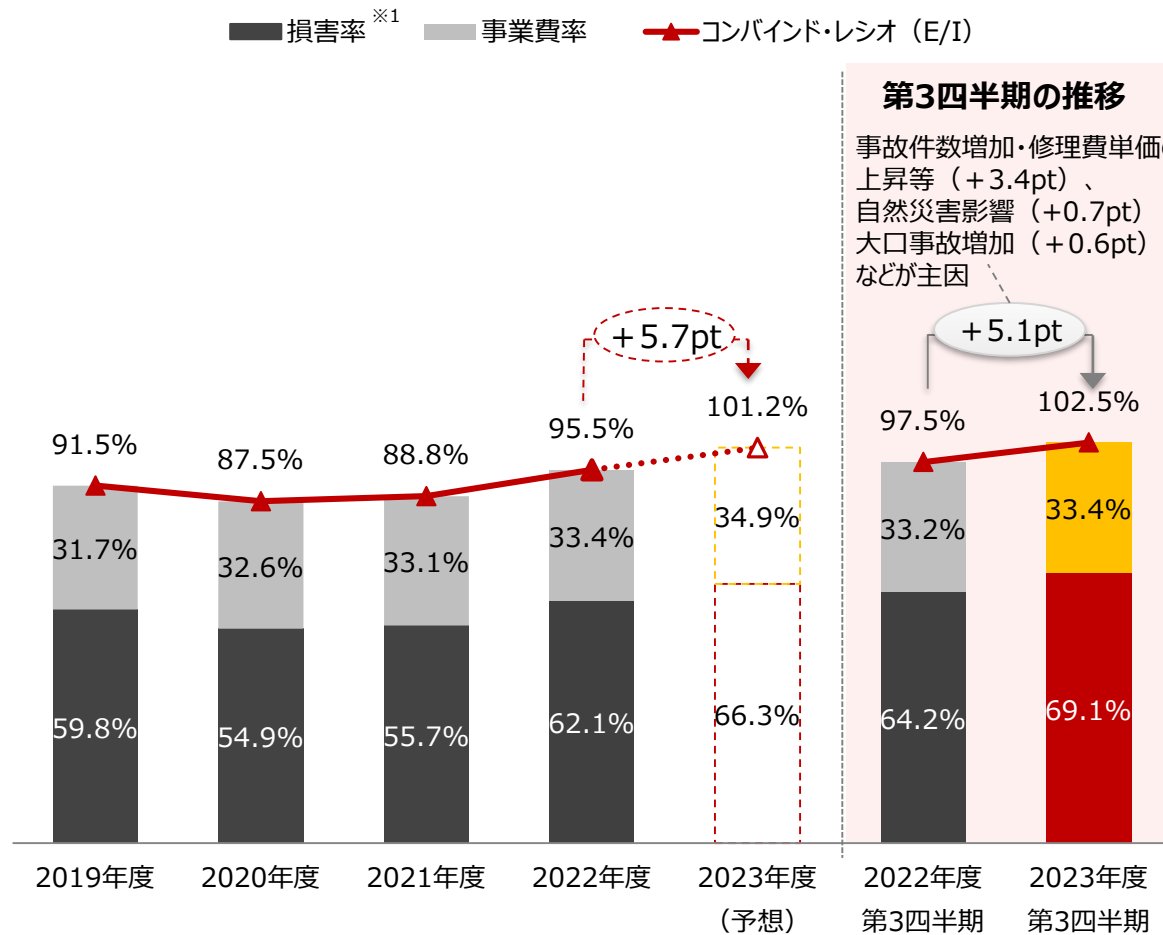
## 資産運用損益の増減要因



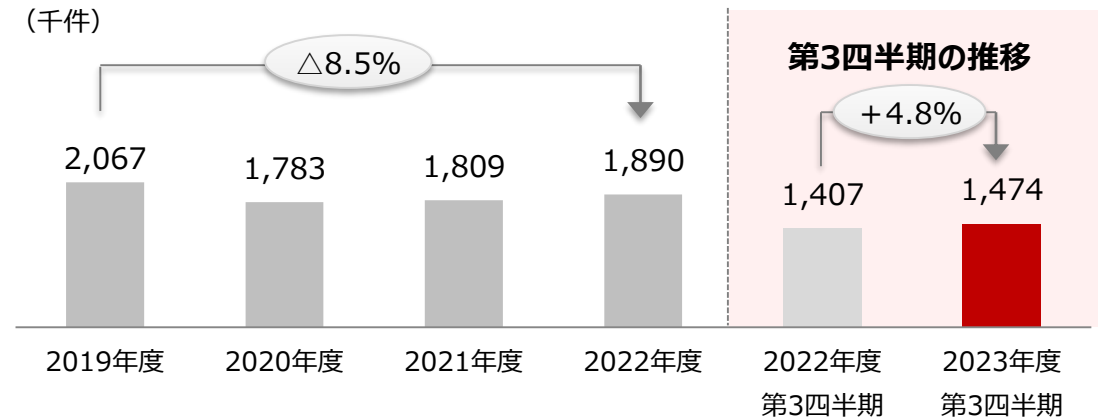
	ネット利息及び配当金収入	有価証券売却損益	有価証券評価損	金融派生商品損益	為替差損益	その他	資産運用損益	政策株式削減額
2022年度第3四半期	733億円	186億円	△13億円	△74億円	102億円	△38億円	895億円	589億円
<b>2023年度第3四半期</b>	<b>780億円</b>	<b>456億円</b>	<b>△15億円</b>	<b>△101億円</b>	<b>142億円</b>	<b>△85億円</b>	<b>1,176億円</b>	<b>635億円</b>
<b>2023年度(予想)</b>	<b>1,757億円</b>	<b>494億円</b>	<b>△71億円</b>	<b>△154億円</b>	<b>111億円</b>	<b>△123億円</b>	<b>2,014億円</b>	<b>700億円</b>

# (参考) 自動車保険関連の指標 (損保ジャパン)

## コンバインド・レシオ (E/I) の推移

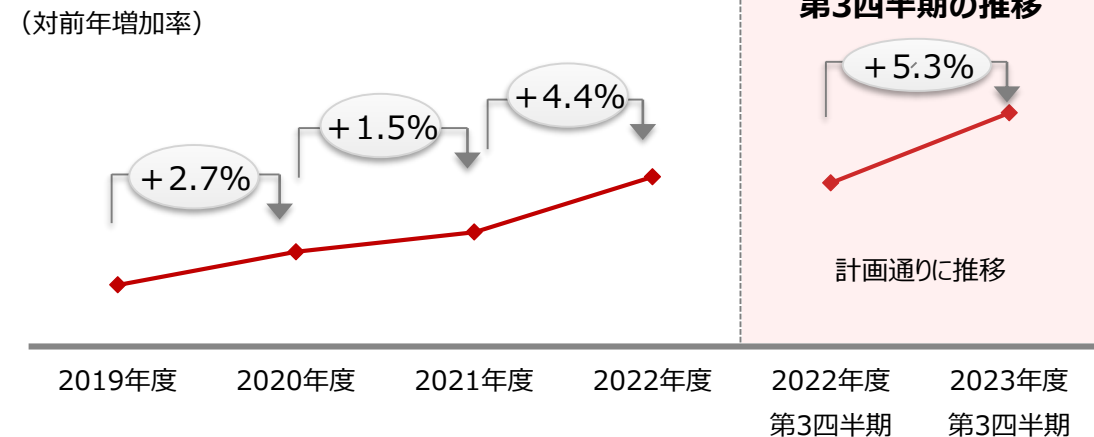


## 事故受付件数<sup>※2</sup> の推移



※2 発生損害が一定額を超過した自然災害に係る件数を除く

## 修理費単価推移<sup>※3</sup>



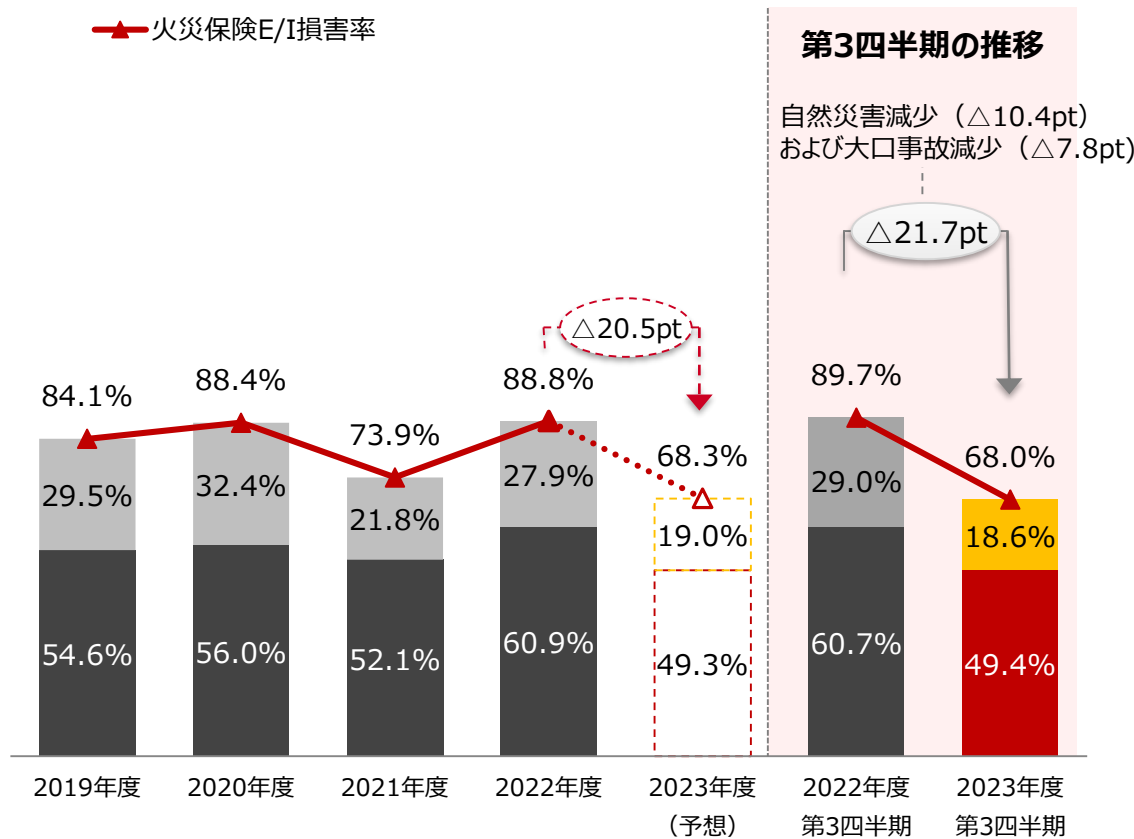
※3 車両 (自然災害影響を除く) と対物の合算

※1 損害率はE/Iベース (含む損調費)

# (参考) 火災保険、新種保険関連の指標 (損保ジャパン)

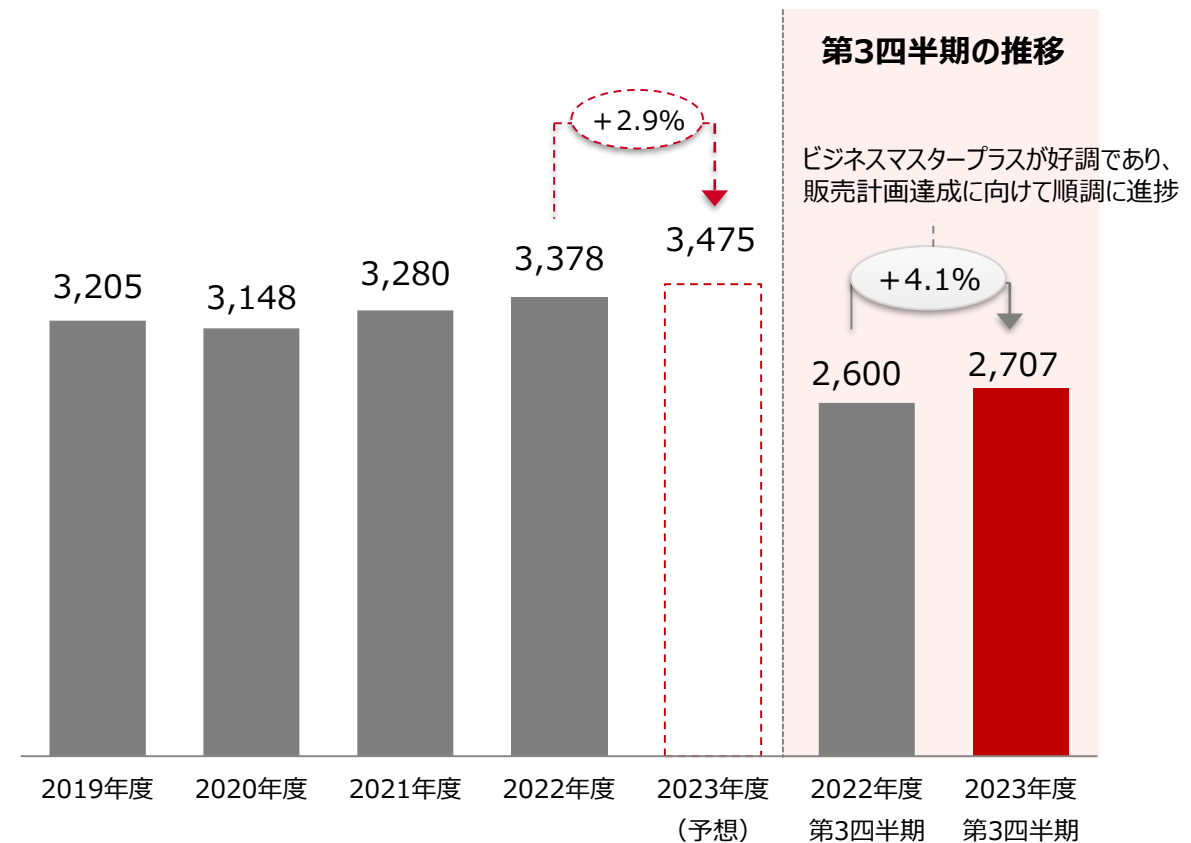
## 火災保険※のE/I損害率

- 火災保険損害率 (国内自然災害)
- 火災保険損害率 (除く国内自然災害)
- ▲ 火災保険E/I損害率



## 新種保険正味収入保険料

(億円)

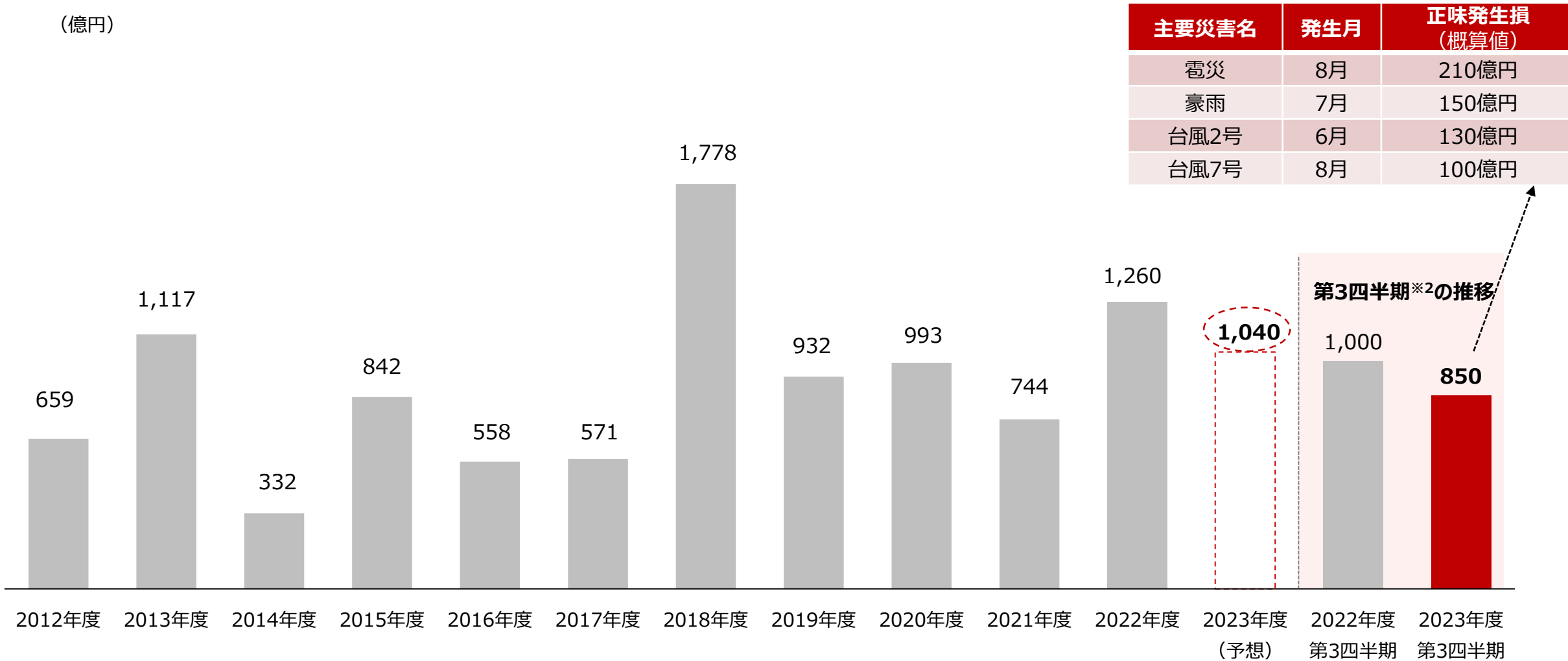


※ 除く家計地震

# (参考) 国内自然災害 (損保ジャパン)

## 国内自然災害の正味発生損 (当年度発生) ※1

(億円)



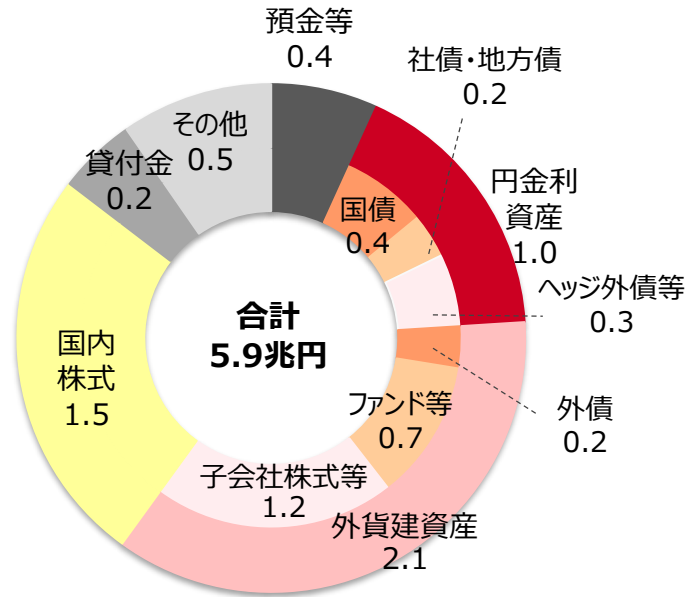
※1 除く自賠償・家計地震

※2 第3四半期決算では支払備金を簡便法で算出しており、国内自然災害に係る発生損害額を集計していないため、12月末時点における状況を反映した概算値を記載

# (参考) 資産ポートフォリオ (損保ジャパン)

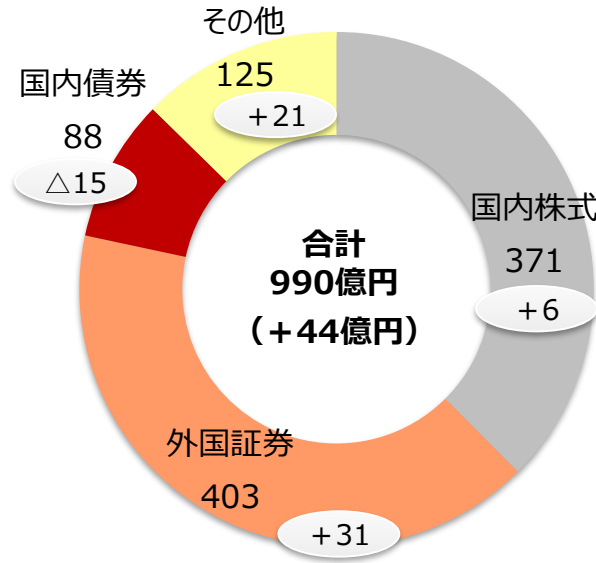
## 資産ポートフォリオ (2023年12月末、一般勘定)

(兆円)



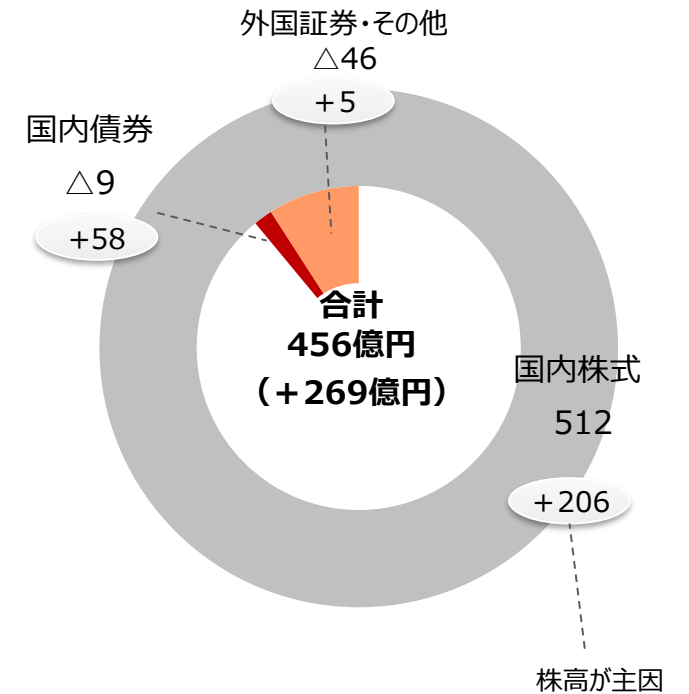
## 利息及び配当金収入の内訳

(億円)



## 有価証券売却益の内訳

(億円)



○ : 前年同期対比の増減額

	2021年 3月末	2022年 3月末	2023年 3月末	2023年 12月末
インカム利回り*	3.0%	3.0%	3.0%	3.5%
デュレーション	資産	8.2年	7.9年	7.9年
	負債	8.3年	7.7年	7.6年

※ 海外グループ会社株式等を除く

## (参考) 決算数値 (損保ジャパン)

(単位：億円)	第3四半期業績			通期業績		
	2022年度 第3四半期	2023年度 第3四半期	増減	2022年度 実績	2023年度 予想	増減
正味収入保険料	16,942	16,468	△474	22,255	21,890	△365
（除く自賠責・家計地震）	15,372	14,979	△393	20,147	20,081	△65
既経過保険料（除く自賠責・家計地震）	14,896	15,267	+371	19,797	20,274	+477
E/I損害率（除く自賠責・家計地震）	67.7%	65.9%	△1.8pt	67.0%	65.3%	△1.7pt
正味損害率	62.9%	66.9%	+4.0pt	64.1%	66.8%	+2.7pt
（除く自賠責・家計地震）	61.3%	65.2%	+3.9pt	62.8%	64.6%	+1.9pt
正味事業費率	33.5%	33.3%	△0.2pt	33.5%	34.5%	+1.0Pt
（除く自賠責・家計地震）	34.0%	33.4%	△0.5pt	33.9%	34.4%	+0.5Pt
コンバインド・レシオ（E/I）※1（除く自賠責・家計地震）	101.7%	99.3%	△2.3pt	100.9%	99.7%	△1.2pt
（参考）コンバインド・レシオ（W/P）（除く自賠責・家計地震）	95.3%	98.6%	+3.3pt	96.7%	99.0%	+2.4pt
保険引受利益	△388	846	+1,234	△198	770	+968
資産運用利益	895	1,176	+281	1,585	2,014	+428
経常利益	394	1,883	+1,489	1,249	2,630	+1,380
当期純利益	338	1,516	+1,177	1,080	2,110	+1,029
修正利益						
異常危険準備金繰入額等（税引後）	△12	△429	△416	△71	△423	△351
価格変動準備金繰入額（税引後）	+23	+24	+0	+32	+31	△0
有価証券売却損益・評価損（税引後）	△121	△313	△192	△204	△285	△80
特殊要因（税引後）※2	△16	△36	△19	△504	△853	△348
修正利益	211	762	+550	331	580	+248

※1 E/I損害率+正味事業費率

※2 グループ会社配当、株式先物関連損益等

# 事業別詳細

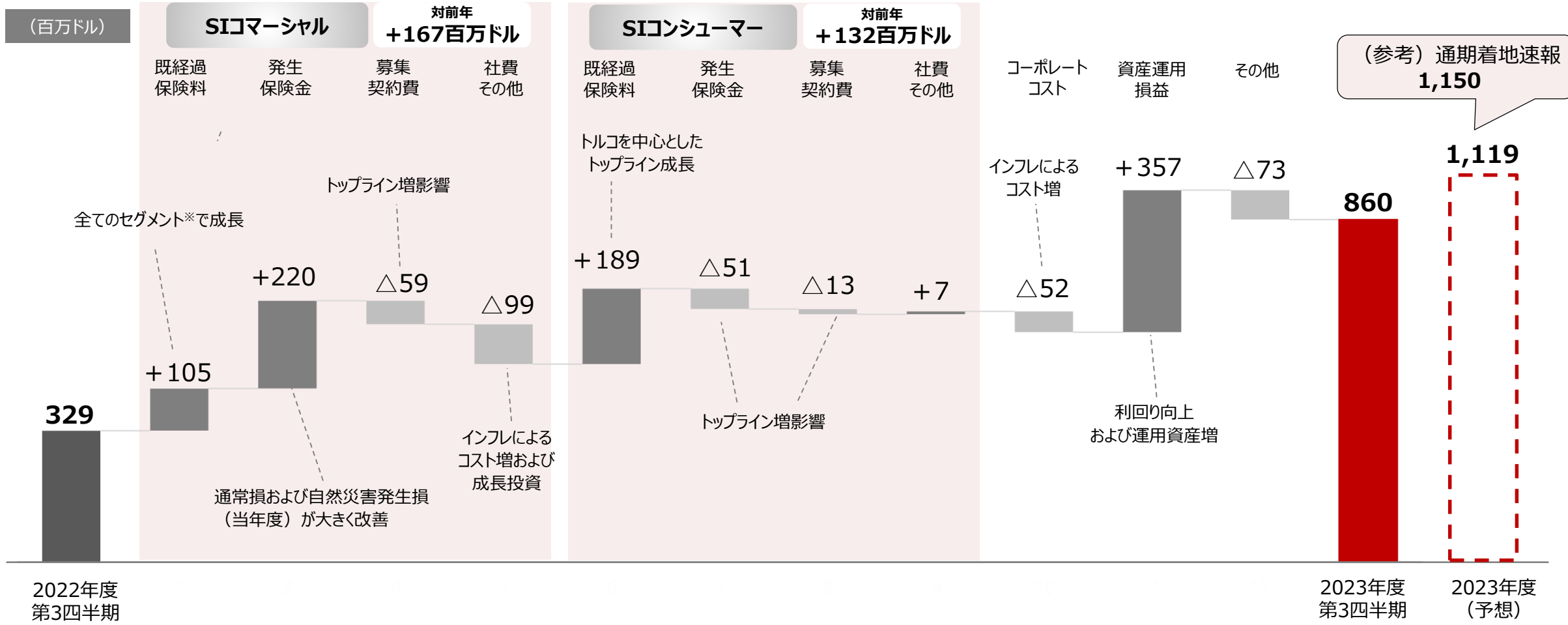
国内損保事業（損保ジャパン）	10
<b>海外保険事業</b>	<b>23</b>
国内生保事業	32
介護・シニア事業	39
ERM	43



# 海外保険事業の業績変動要因

- 自然災害の減少などによる保険引受利益増に加え、利回り向上や運用資産増による資産運用利益増もあり、2023年度第3四半期の修正利益は大幅増益となる860百万ドル

## 修正利益の増減要因

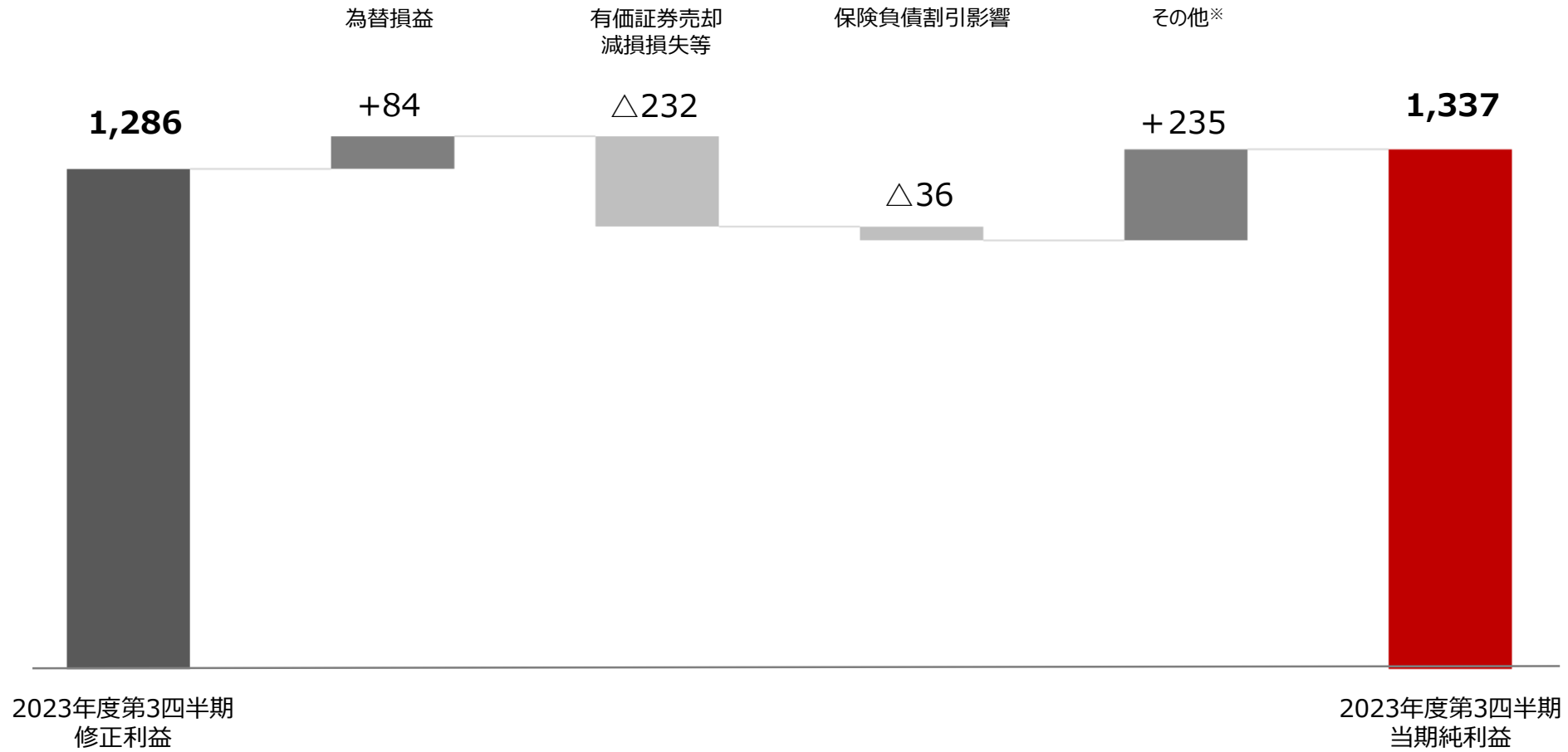




# (参考) 純利益へのコンバージョン

## 純利益へのコンバージョン

(億円)

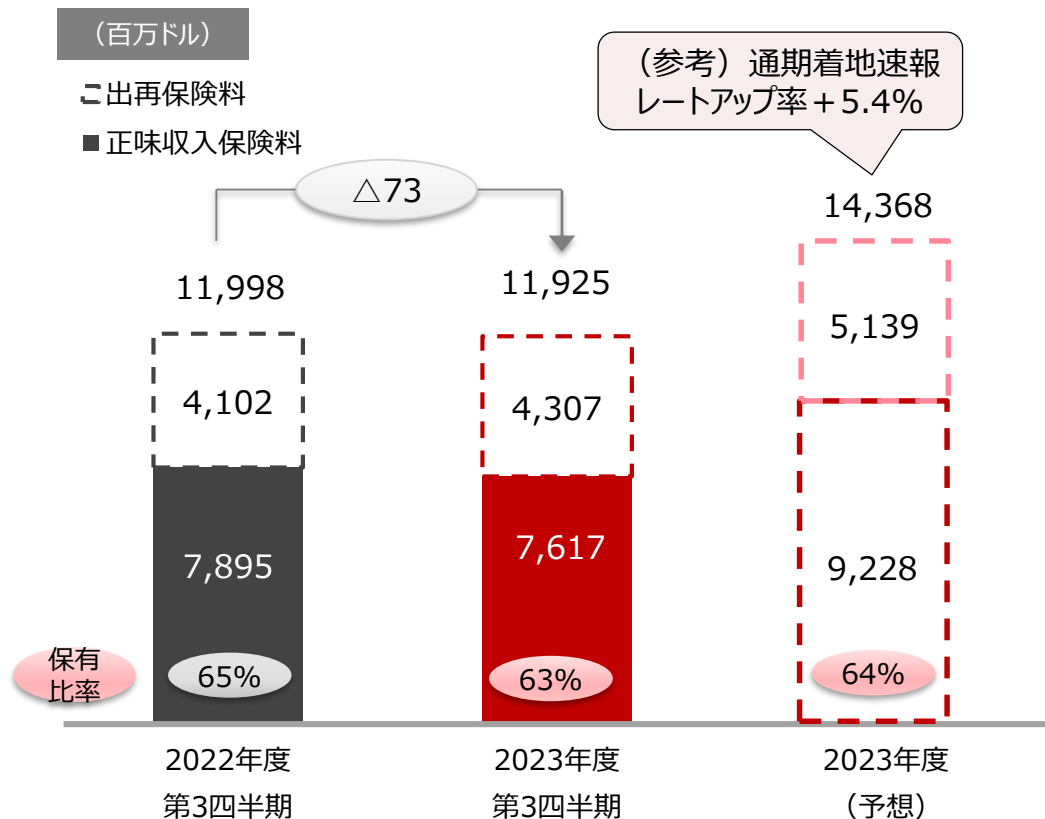


※ 税等

# 収入保険料 (SIコマース)

- 2023年度第3四半期のグロス保険料は主力の北米およびグローバルマーケットで好調に推移、既経過保険料は+105百万ドルの増収

## グロス保険料



(第3四半期の主な増減要因)

- 北米 : ロスコストを上回る継続的なレートアップ
- グローバルマーケット : 欧州、ブラジル、アジアが好調
- 農業保険 : 綿花、大豆の価格下落影響、地域集積リスク抑制に向けた引受制限
- 再保険 : 好調なプライシングに加え、引受を適正にコントロール

## (参考) セグメント別トップライン

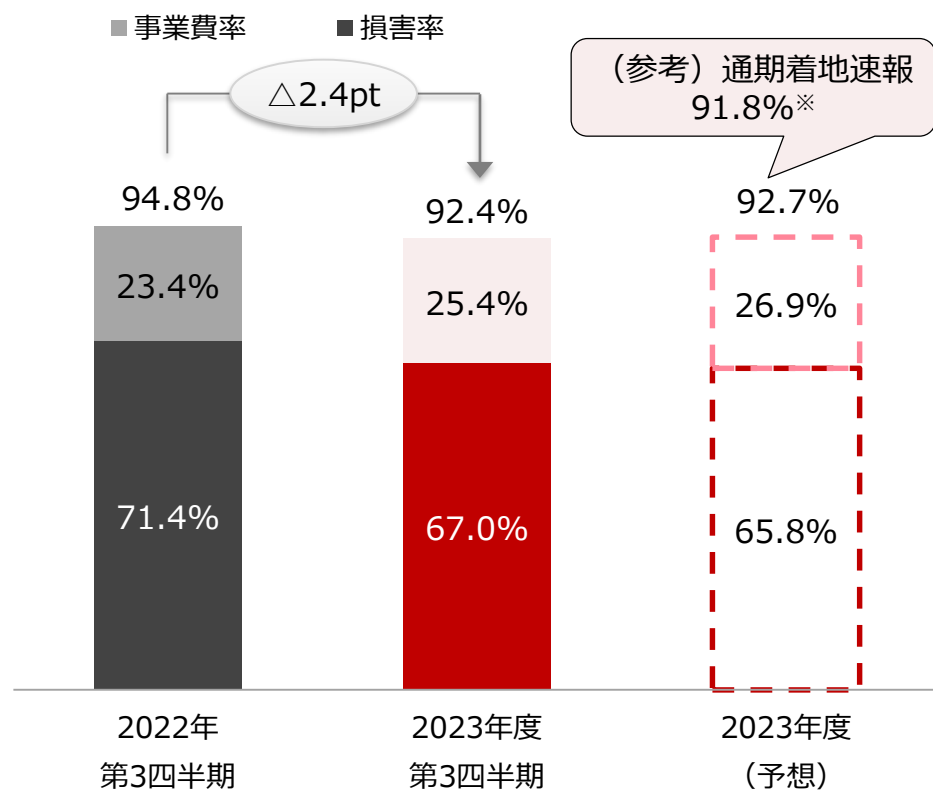
(単位：百万ドル)

		2022年度 第3四半期	2023年度 第3四半期	増減
グロス保険料	北米	3,383	3,640	+256 (+7.6%)
	グローバルマーケット	1,762	1,834	+72 (+4.1%)
	農業保険	3,032	2,615	△417 (△13.8%)
	再保険	3,820	3,835	+14 (+0.4%)
正味収入保険料	北米	1,830	2,007	+176 (+9.6%)
	グローバルマーケット	937	937	△0 (△0.1%)
	農業保険	1,652	1,282	△370 (△22.4%)
	再保険	3,447	3,391	△56 (△1.6%)
既経過保険料	北米	1,786	2,030	+244 (+13.7%)
	グローバルマーケット	922	938	+15 (+1.7%)
	農業保険	1,268	1,086	△182 (△14.4%)
	再保険	2,630	2,673	+43 (+1.7%)
保有比率	北米	54%	55%	+1pt
	グローバルマーケット	53%	51%	△2pt
	農業保険	54%	49%	△5pt
	再保険	90%	88%	△2pt

# コンバインド・レシオ (SIコマースナル)

- 2023年度第3四半期のコンバインド・レシオは、自然災害発生損の改善により2.4pt改善し92.4%

## コンバインド・レシオ



(2023年度第3四半期コンバインド・レシオの主な増減要因)

- 北米 : 当年度発生損害率および自然災害発生損が改善
- グローバルマーケット : トルコにおける、トルコ・シリア地震およびインフレ影響
- 農業保険 : 米国の一部地域における厳しい生育状況、およびとうもろこし価格の下落影響
- 再保険 : 自然災害発生損の改善

## (参考) セグメント別コンバインド・レシオ

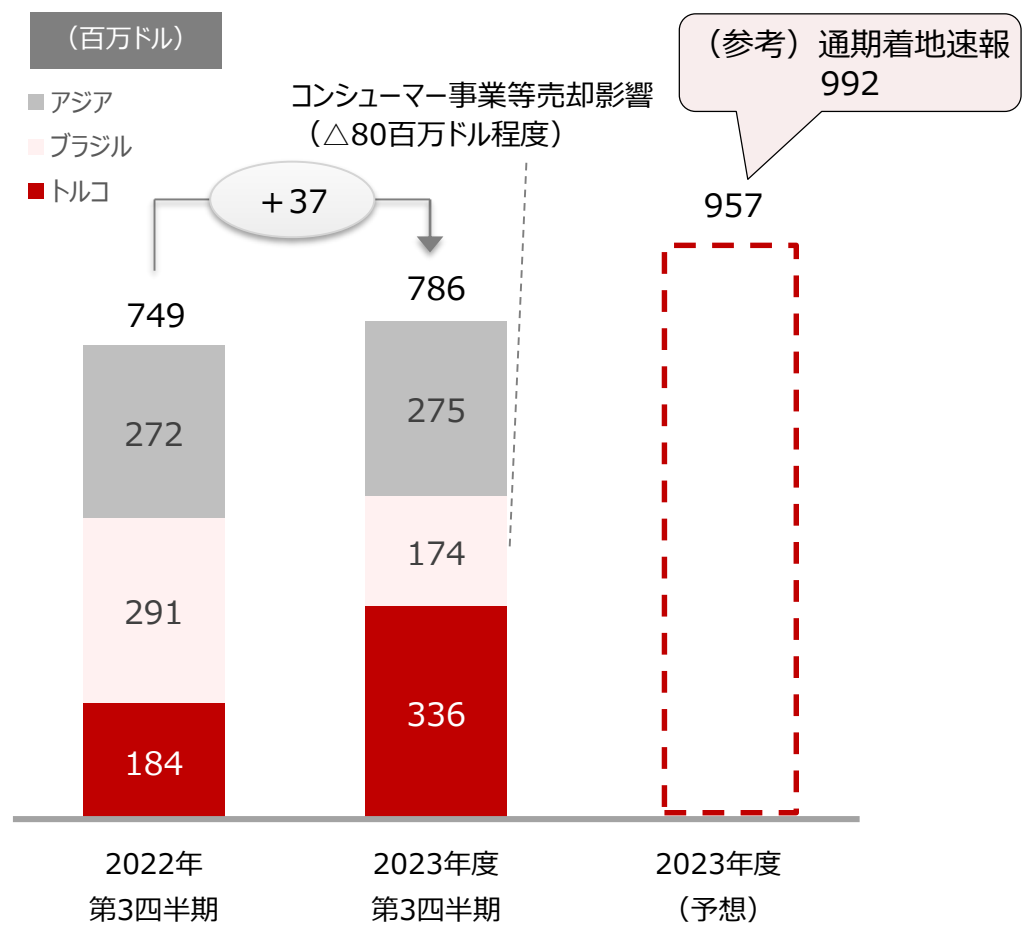
	2022年度 第3四半期	2023年度 第3四半期	増減	
損害率	北米	79.0%	66.9%	△12.1pt
	グローバルマーケット	60.4%	61.7%	+1.3pt
	農業保険	85.8%	91.9%	+6.1pt
	再保険	63.1%	58.7%	△4.4pt
事業費率	北米	21.2%	22.4%	+1.2pt
	グローバルマーケット	30.2%	32.9%	+2.7pt
	農業保険	9.4%	11.4%	+2.0pt
	再保険	29.5%	30.8%	+1.3pt
コンバインド・レシオ	北米	100.2%	89.3%	△10.9pt
	グローバルマーケット	90.6%	94.5%	+3.9pt
	農業保険	95.3%	103.3%	+8.0pt
	再保険	92.6%	89.5%	△3.1pt
保険引受利益 (百万ドル)	北米	△1.7	217.7	+219.5
	グローバルマーケット	91.9	54.5	△37.3
	農業保険	60.9	△36.8	△97.7
	再保険	193.6	282.2	+88.6
合計	350.7	518.1	+167.3	

\* 2023年度第4四半期の一過性要因 (保守的な備金強化575百万ドル) の影響を除く (詳細はP5参照)

# SIコンシューマー業績概況

- 2023年度第3四半期の正味収入保険料は、ブラジルのコンシューマー事業売却影響をトルコの増収でオフセットし+37百万ドル増収
- トルコ・ブラジルの収益改善がけん引し、コンバインド・レシオは19.5pt改善の94.7%、保険引受利益は+132百万ドル増益の47百万ドル

## 正味収入保険料



(参考) セグメント別コンバインドレシオ	2022年度 第3四半期	2023年度 第3四半期	増減	
損害率	トルコ	118.1%	62.8%	△55.3pt
	ブラジル	77.4%	62.9%	△14.6pt
	アジア	48.1%	56.3%	+8.2pt
	合計	71.1%	60.5%	△10.5pt
事業費率	トルコ	49.3%	26.7%	△22.6pt
	ブラジル	44.8%	39.5%	△5.3pt
	アジア	39.4%	39.6%	+0.3pt
	合計	43.1%	34.2%	△8.9pt
コンバインド・レシオ	トルコ	167.5%	89.5%	△77.9pt
	ブラジル	122.2%	102.4%	△19.9pt
	アジア	87.5%	96.0%	+8.5pt
	合計	114.2%	94.7%	△19.5pt
保険引受利益 (百万ドル)	トルコ	△63.6	34.7	+98.3
	ブラジル	△54.3	△4.2	+50.0
	アジア	33.4	17.3	△16.1
	合計	△84.4	47.8	+132.3

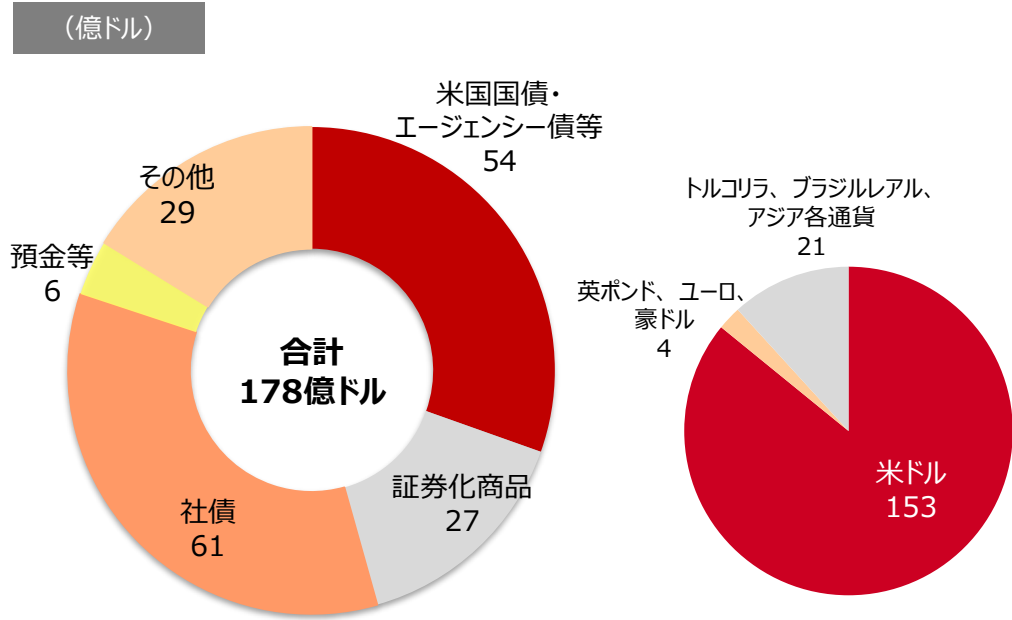
(2023年度第3四半期コンバインド・レシオの主な増減要因)

トルコ : インフレを織り込んだレートアップにより、トップラインが大幅増  
 ブラジル : 健康保険事業売却による損害率改善、および2022年度計上の一過性の引当金影響の剥落  
 アジア : 自動車および健康保険の損害率上昇

# 資産ポートフォリオ・資産運用損益（海外保険事業）

- 2023年度第3四半期の資産運用損益は、運用資産額増加と再投資利回り上昇による利配収入増を主因に、対前年倍増以上（+357百万ドル）の702百万ドル

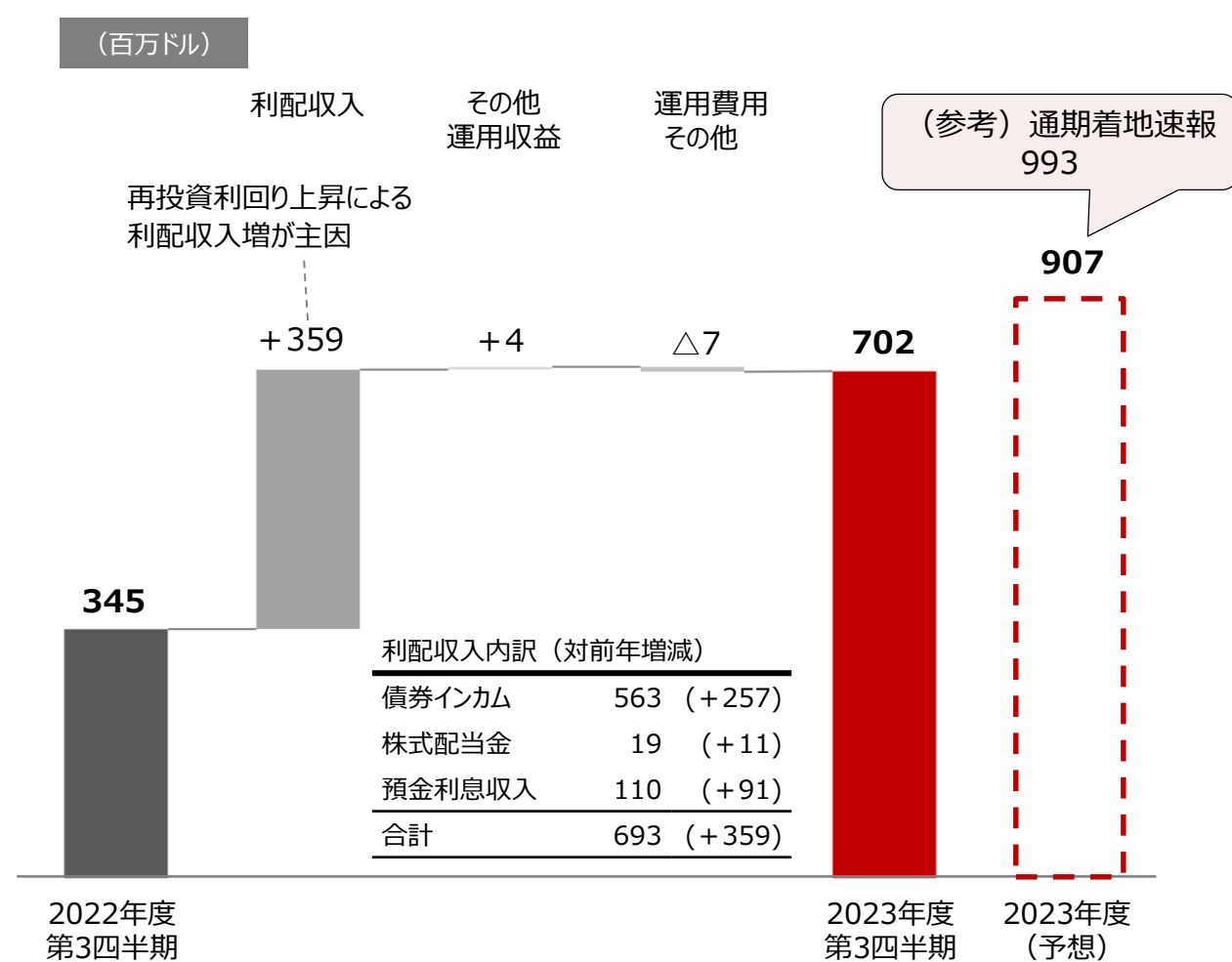
## 資産ポートフォリオ（2023年9月末、海外保険事業※）



	2021年 12月末	2022年 12月末	2023年 9月末
債券市場利回り	2.4%	6.7%	7.2%
債券簿価利回り	2.7%	4.6%	5.4%
デュレーション			
資産	2.9年	3.2年	3.2年
負債	2.8年	2.4年	2.3年

※ Sompoインターナショナルホールディングス非連結会社を除く

## 海外保険事業の資産運用損益の内訳

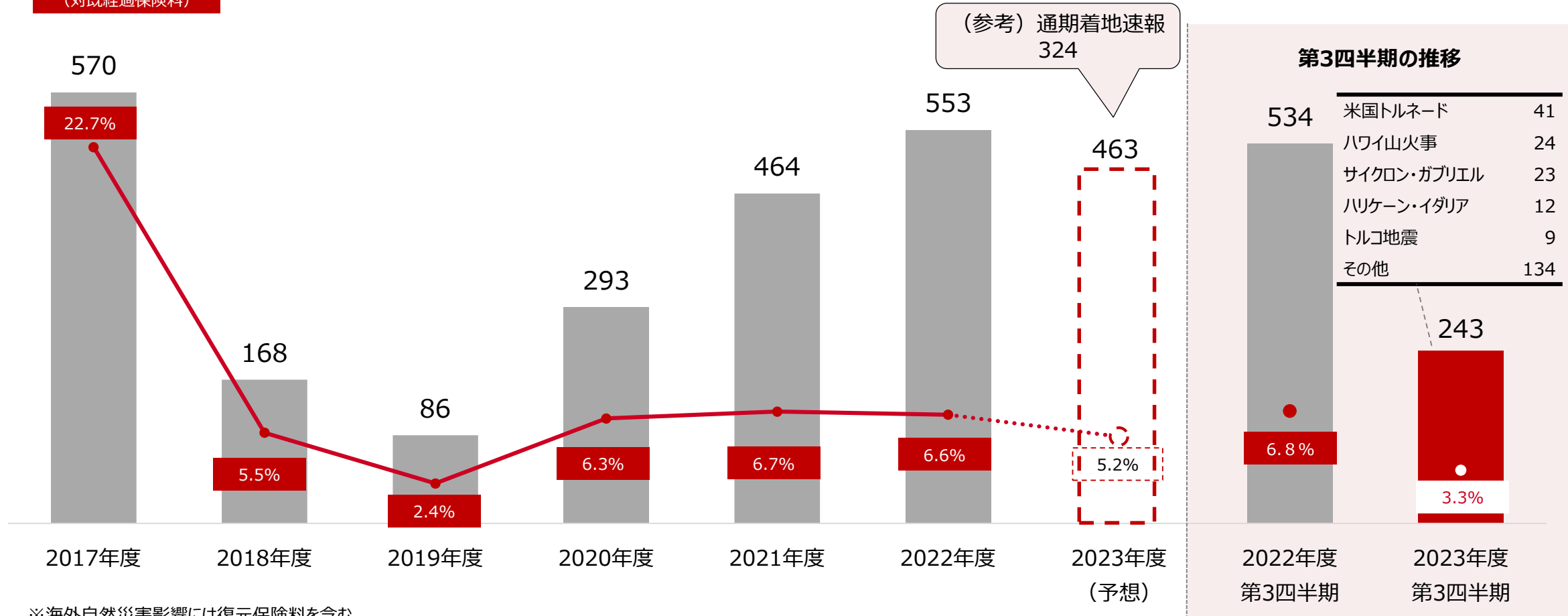


# (参考) 海外自然災害 (SIコマーシャル)

## 海外自然災害影響※ (当年度発生)

(百万ドル)

損害率影響  
(対既経過保険料)



※海外自然災害影響には復元保険料を含む

## (参考) 決算数値

	2022年度 第3四半期	2023年度 第3四半期				増減	2023年度 予想	
	海外計	SIコマーシャル	SIコンシューマー	コーポレート	海外計			海外計
ドル ベース (\$ mn.)								
グロス保険料	12,904	11,925	955	—	12,880	△23 (△0.2%)	15,623	
正味保険料	8,650	7,617	786	—	8,404	△245 (△2.8%)	10,188	
既経過保険料	7,223	6,728	789	—	7,518	+294 (+4.1%)	9,801	
発生保険金	5,153	4,505	477	—	4,982	△170 (△3.3%)	6,460	
事業費	1,820	1,710	269	—	1,980	+160 (+8.8%)	2,719	
保険引受利益	193	518	47	△125	440	+247 (+128.0%)	513	
損害率	71.3%	67.0%	60.5%	—	66.3%	△5.1pt	—	65.9%
事業費率	26.1%	25.4%	34.2%	—	28.0%	+1.9pt	—	29.0%
コンバインド・レシオ	97.4%	92.4%	94.7%	—	94.3%	△3.1pt	—	94.9%
資産運用利益	345	—	—	—	702	+357 (+103.3%)	907	
当期純利益※1	△298	—	—	—	893	+1,192	—	1,165
当期純利益※1	△431	—	—	—	1,337	+1,768	—	1,743
為替損益	△90	—	—	—	△84	+5	—	△78
有価証券売却・減損損失等※2	+2,068	—	—	—	+232	△1,835 (△88.7%)	—	+146
保険負債割引影響	△1,060	—	—	—	+36	+1,096	—	△77
その他※3	△9	—	—	—	△235	△226	—	△54
海外保険事業修正利益	476	—	—	—	1,286	+809 (+169.8%)	—	1,680
円 ベース (億円)								

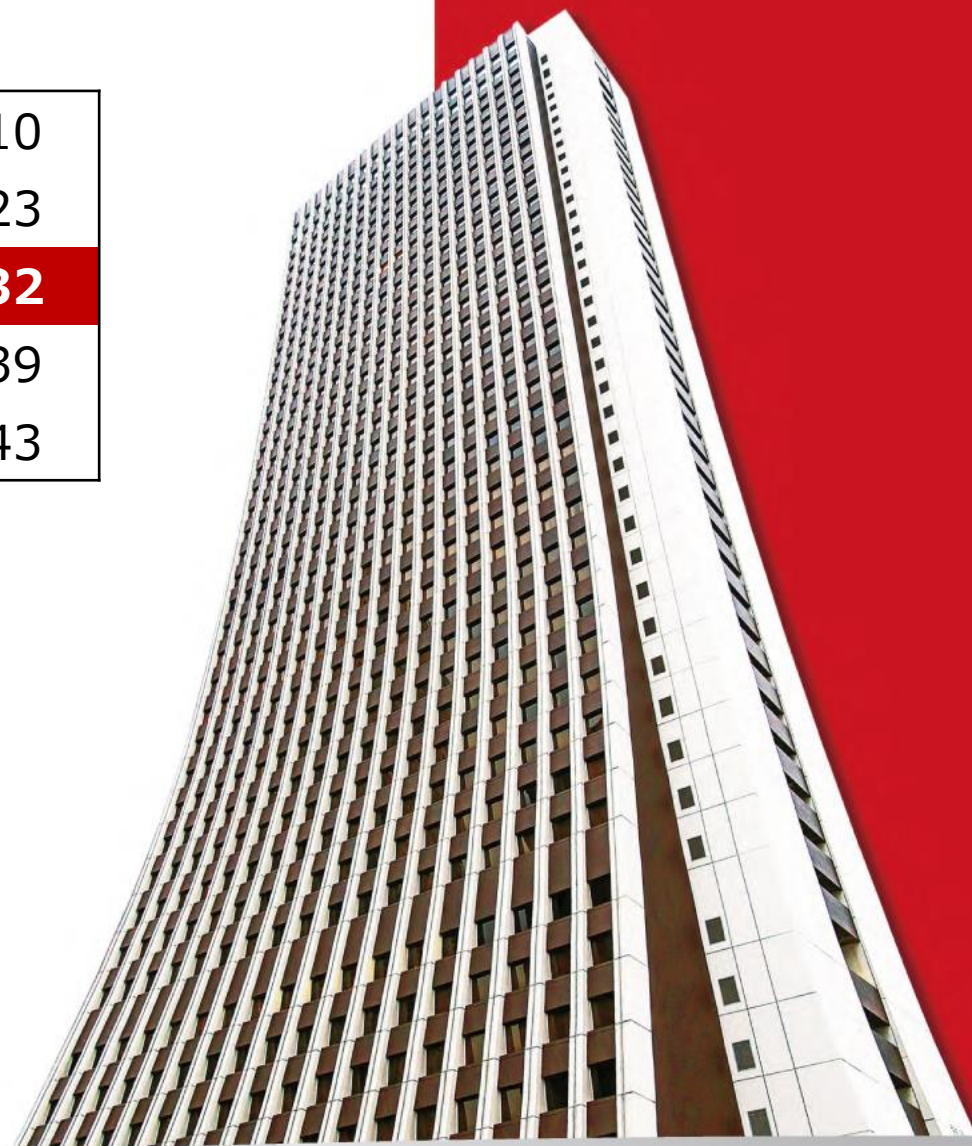
※1 2023年度からSIにおいてIFRS新基準（IFRS9およびIFRS17）を適用したことによる遡及修正の影響を含む、修正利益は定義変更なし

※2 未実現損益を含む

※3 税等

# 事業別詳細

国内損保事業（損保ジャパン）	10
海外保険事業	23
<b>国内生保事業</b>	<b>32</b>
介護・シニア事業	39
ERM	43



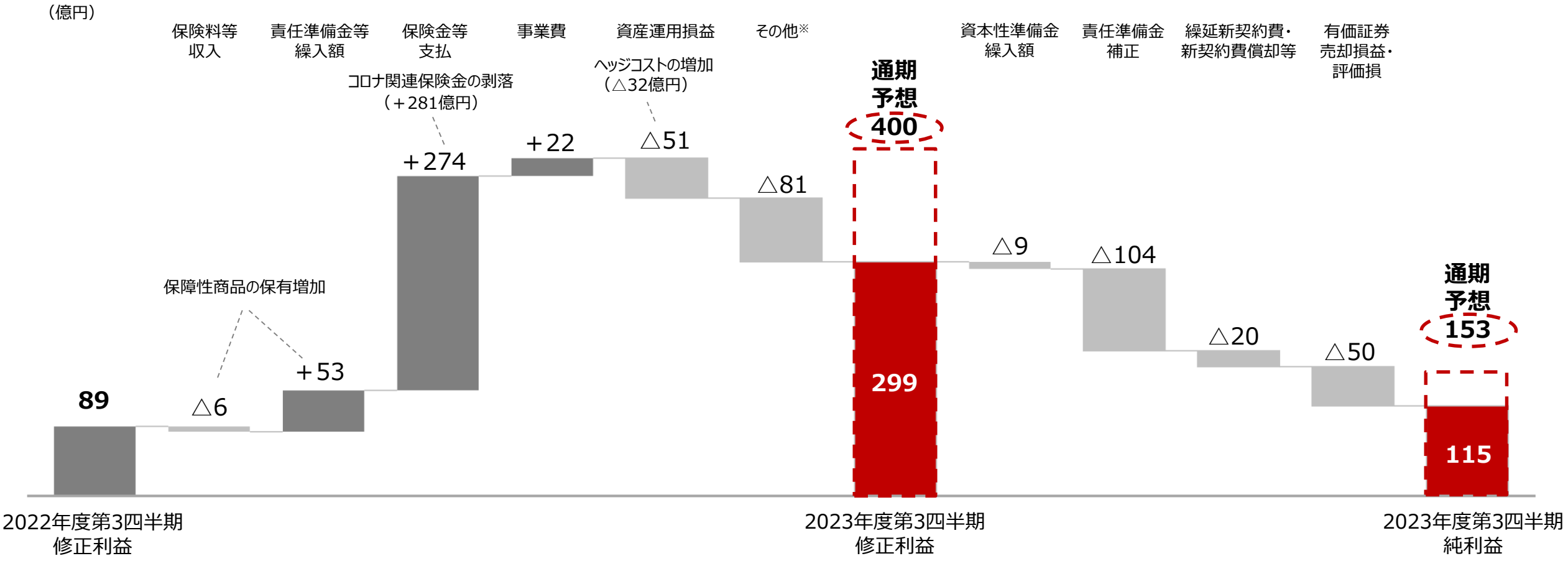


# 国内生保事業（ひまわり生命）の業績変動要因

- 2023年度第3四半期の修正利益は、前年度のコロナ影響剥落を主因に+210億円増益の299億円と順調

## 修正利益の増減要因

## 純利益へのコンバージョン

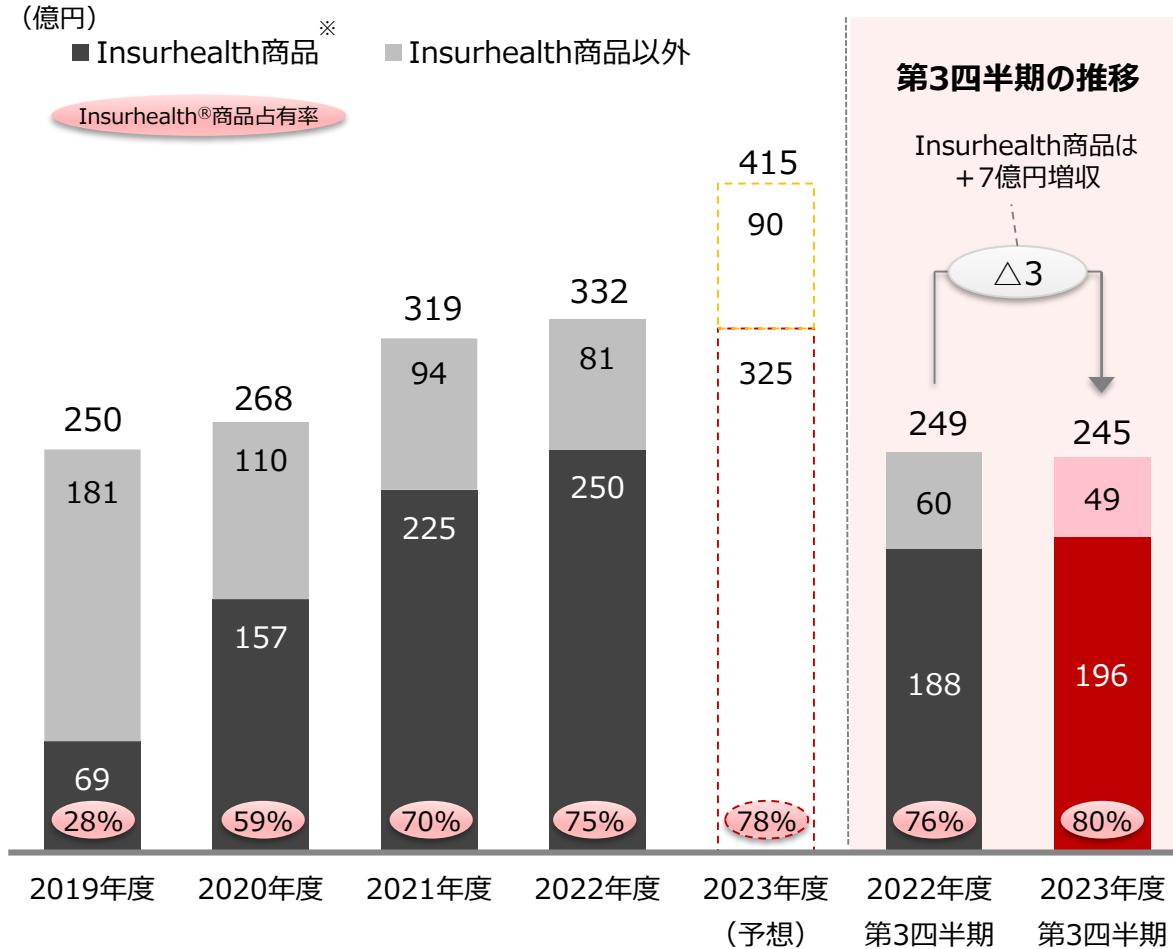


\* 法人税等

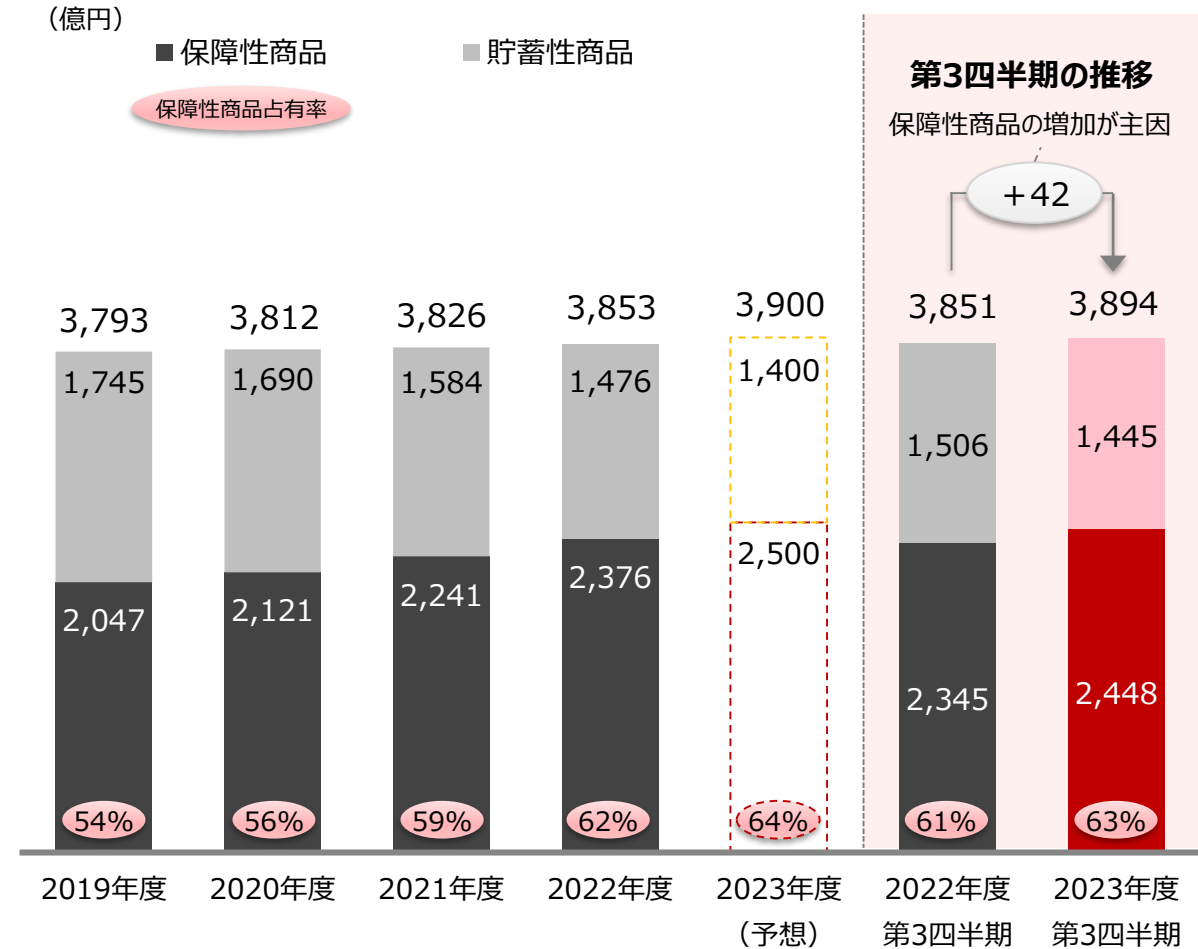
# 新契約年換算保険料・保有契約年換算保険料

- 保有契約年換算保険料は、Insurhealth®のがん保険を中心に増加が継続

## 新契約年換算保険料



## 保有契約年換算保険料

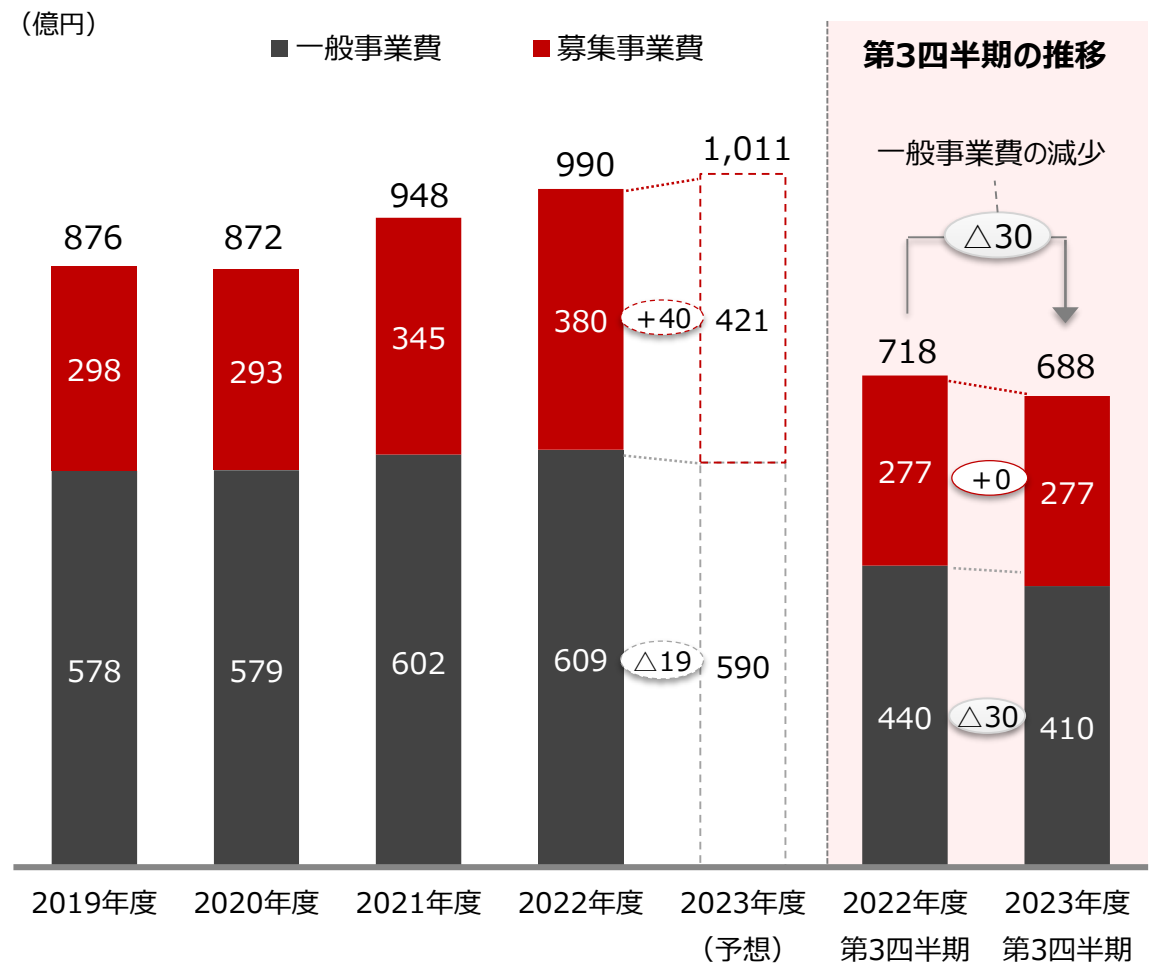


※ 保険本来の保障機能 (Insurance) に健康を応援する機能 (Healthcare) を組み合わせ新たな価値を提供する商品

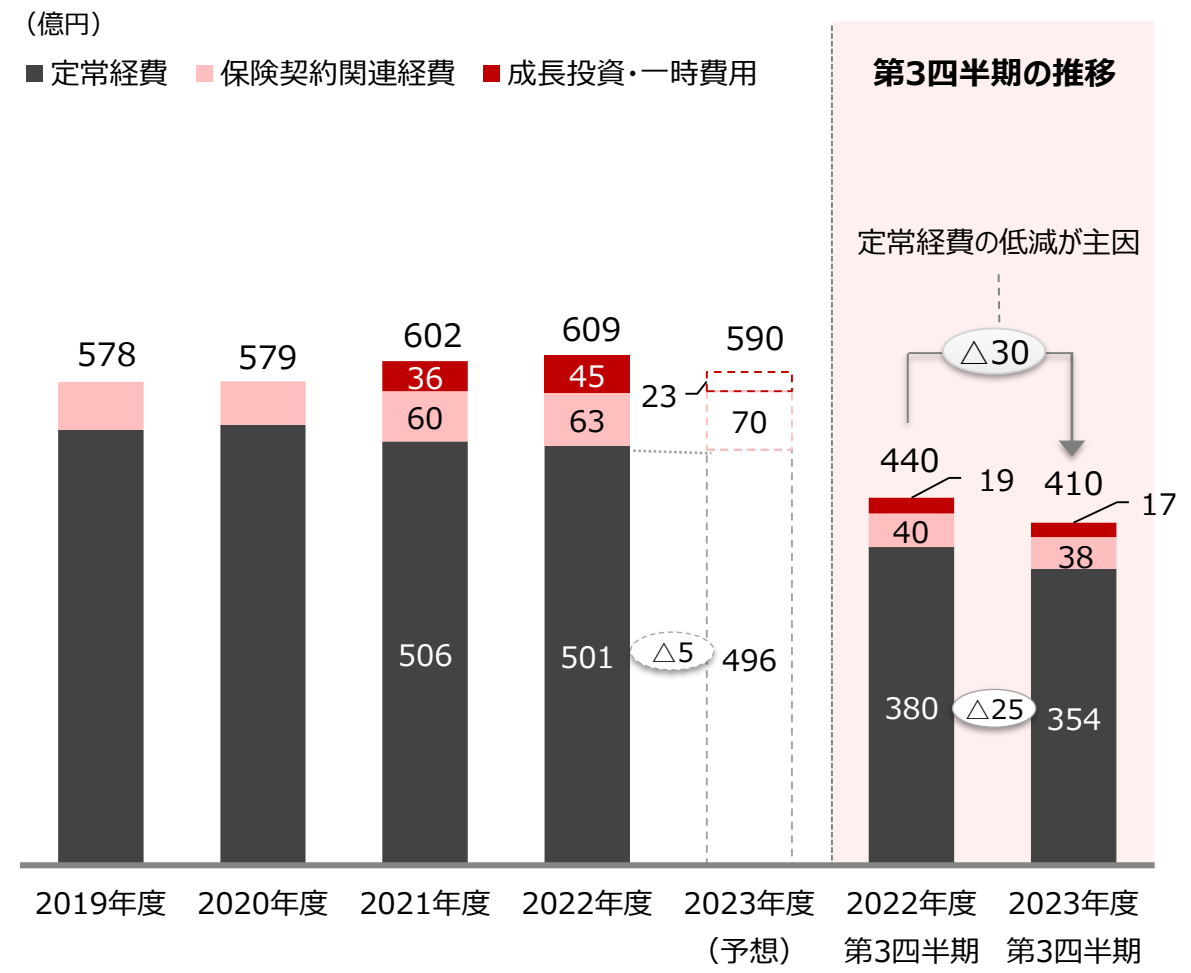
# 事業費

- 一般事業費の適正なコントロールにより、2023年度第3四半期の事業費は△30億円減少

## 事業費の推移



## 一般事業費の推移

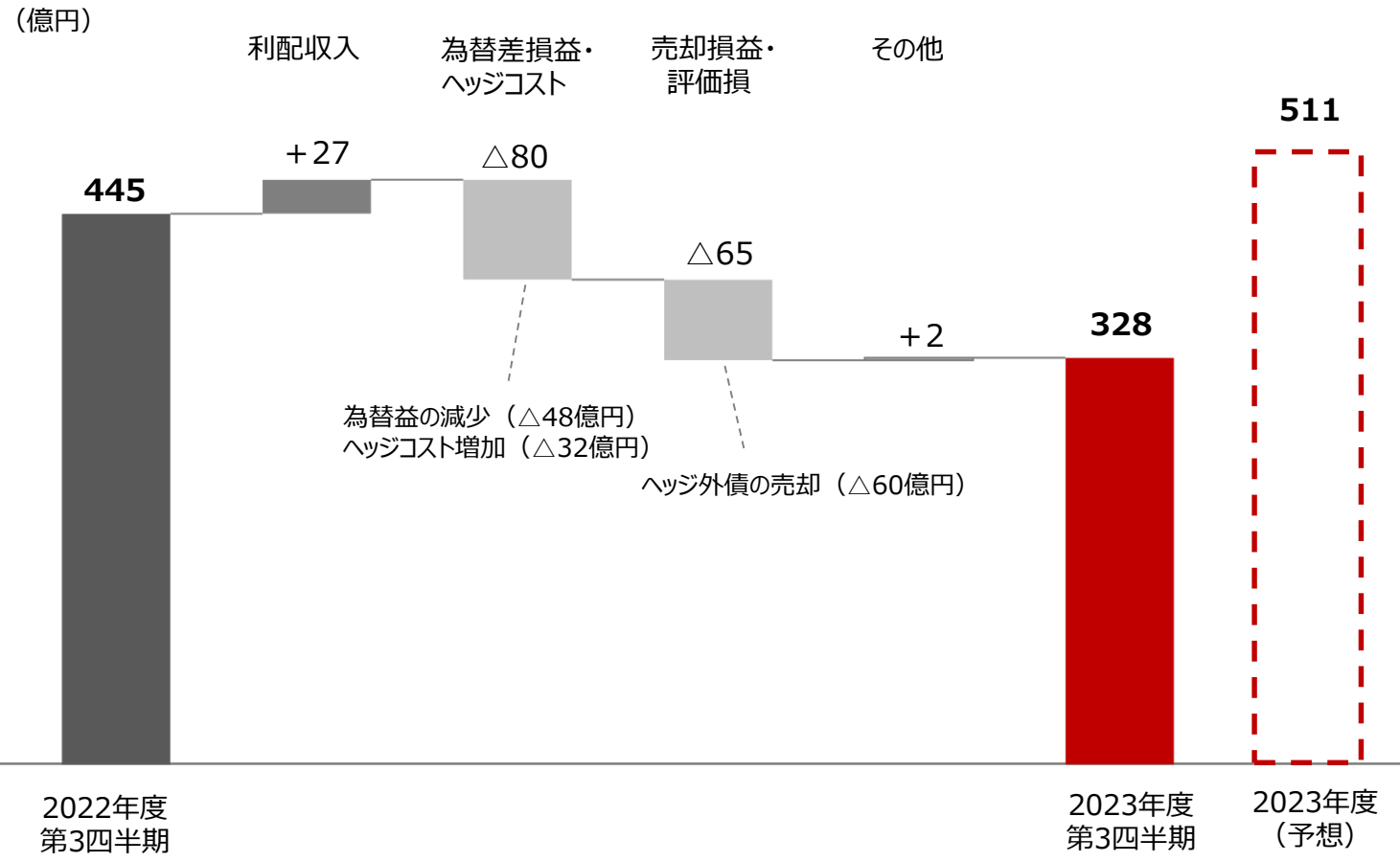
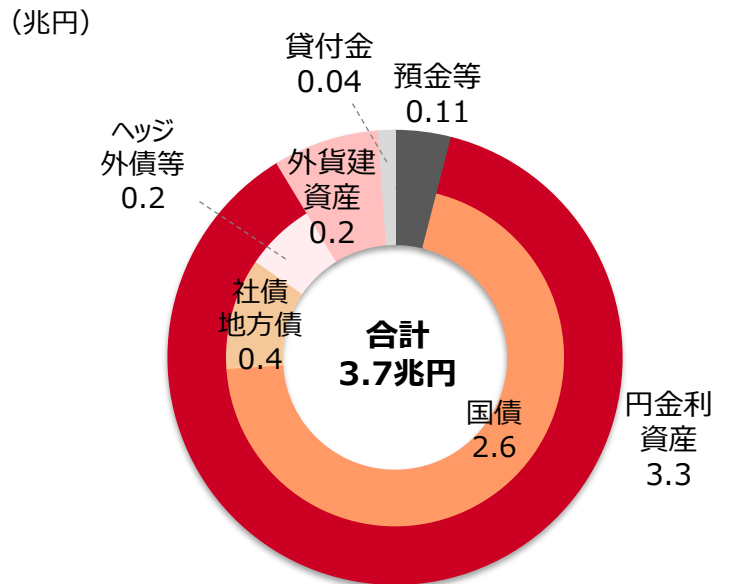


# 資産ポートフォリオ・資産運用損益

- 金利上昇もあり、デフレギャップは概ね解消

## 資産ポートフォリオ (2023年12月末、一般勘定)

## 資産運用損益 (一般勘定) の増減要因



	2021年 3月末	2022年 3月末	2023年 3月末	2023年 12月末
インカム利回り	1.5%	1.5%	1.5%	1.5%
資産	15年	16年	17年	16年
デフレギャップ	26年	24年	20年	18年
差	10年	8年	3年	2年

(参考) 債券資産の格付構成：BB格以下の保有なし

## (参考) 決算数値

(億円)	第3四半期業績				通期業績		
	2022年度 第3四半期	2023年度 第3四半期	増減		2022年度 実績	2023年度 予想	増減
新契約年換算保険料	249	245	△3	(△1.4%)	332	415	+82
保険料等収入※1	3,199	3,192	△6	(△0.2%)	4,344	4,398	+53
責任準備金繰入等※2	1,987	1,929	△57	(△2.9%)	2,701	2,670	△30
保険金等支払	934	659	△274	(△29.4%)	1,134	890	△244
事業費	718	688	△30	(△4.2%)	990	1,011	+21
資産運用損益	446	369	△77	(△17.4%)	603	525	△77
(うち一般勘定)	445	328	△116	(△26.1%)	588	511	△77
基礎利益	△81	262	+344	-	△18	323	+341
経常利益※1	△28	205	+233	-	63	263	+200
当期純利益	△47	115	+162	-	9	153	+144
資本性準備金繰入額	10	9	△1	(△13.9%)	+13	+14	+0
責任準備金補正	105	104	△0	(△0.8%)	+138	+147	+8
繰延新契約費	195	194	△0	(△0.1%)	+267	+298	+30
新契約費償却等	△178	△174	+3	-	△235	△249	△14
有価証券売却損益・評価損	3	50	+46	(+1,377.1%)	△15	+36	+51
修正利益	89	299	+210	(+236.6%)	178	400	+221

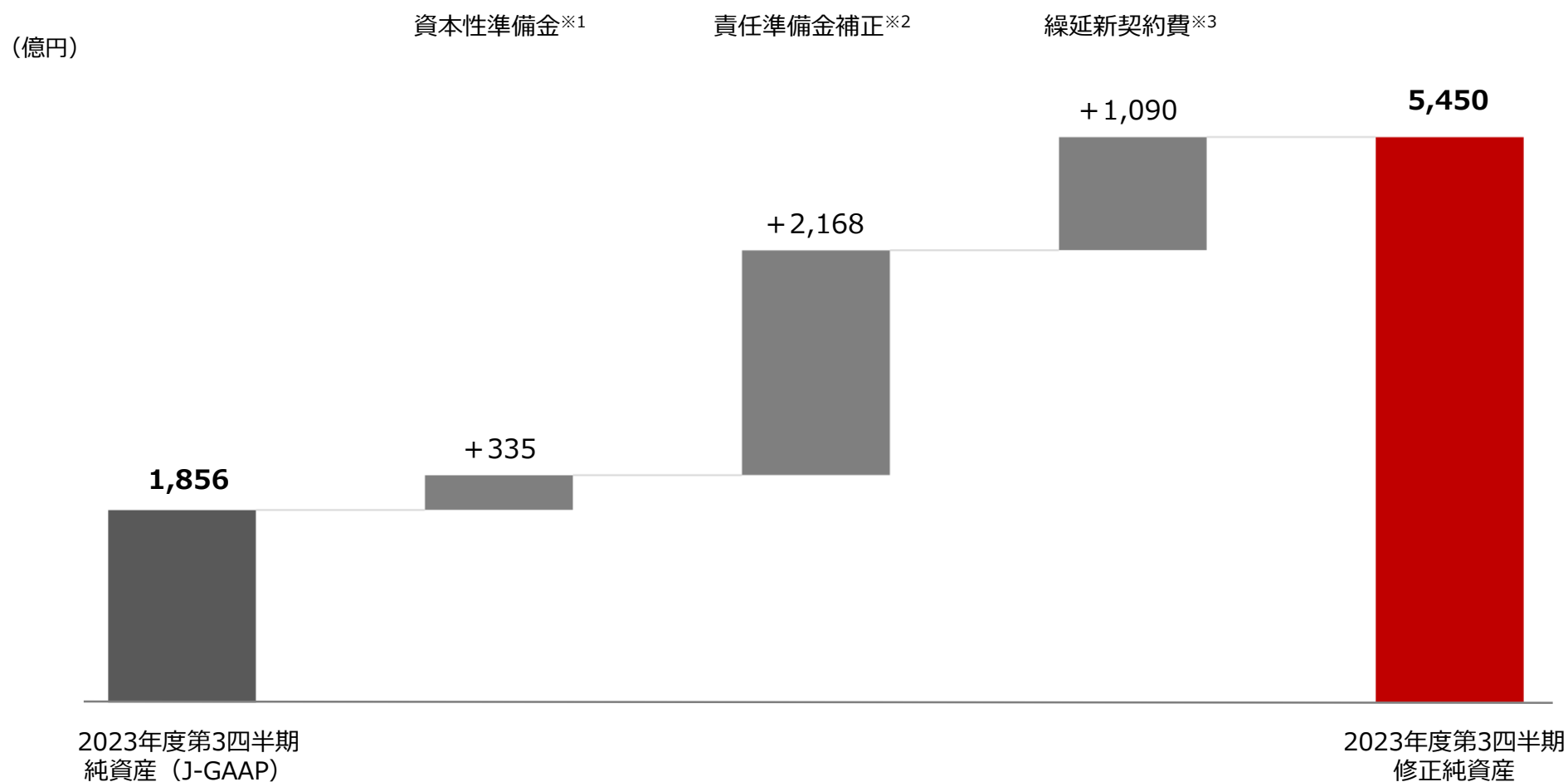
修正利益

※1 法令に則った生命保険会社の様式に基づく数値（連結様式とは異なる）

※2 解約返戻金、満期保険金、生存給付金、年金、その他返戻金支払影響および特別勘定資産運用損益を含む

# (参考) 修正純資産のコンバージョン

## 修正純資産のコンバージョン



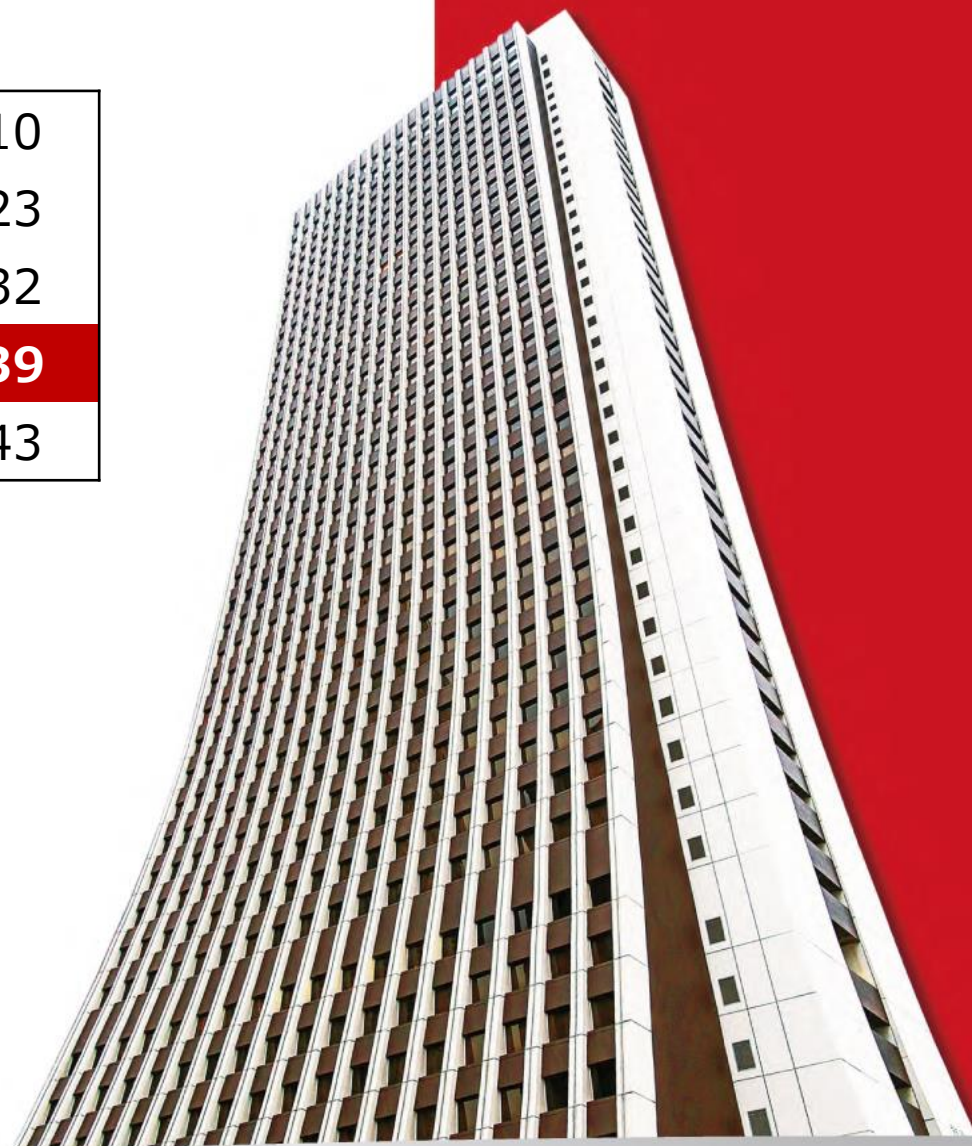
※1 危険準備金、価格変動準備金 (税後)

※2 保守的に計算している責任準備金を保険料計算に用いる基礎率により再計算 (税後)

※3 契約初年度に発生する募集手数料等の新契約費を10年間で償却 (税後)

# 事業別詳細

国内損保事業（損保ジャパン）	10
海外保険事業	23
国内生保事業	32
<b>介護・シニア事業</b>	<b>39</b>
ERM	43

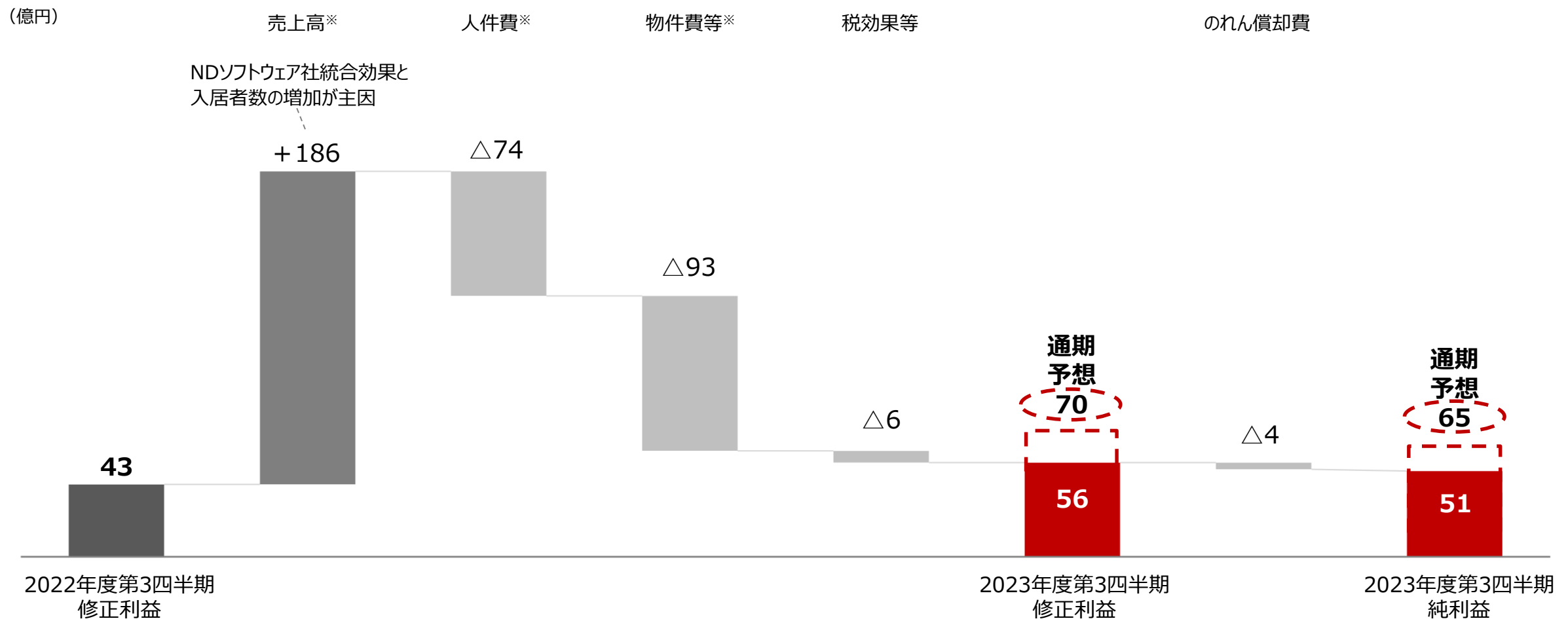


# 介護・シニア事業の業績変動要因

- 2023年度第3四半期の修正利益は、NDソフトウェア社統合効果等により、+13億円増益の56億円

## 修正利益の増減要因

## 純利益へのコンバージョン



※ NDソフトウェア社統合効果は、売上高+140億円、人件費影響△55億円、物件費影響△70億円

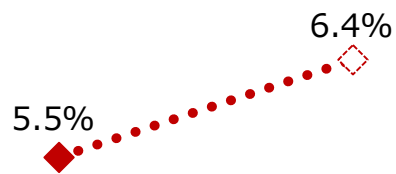


# 売上高・営業利益率・修正利益

- NDソフトウェア社の買収による統合効果に加え、入居率上昇により、2023年度第3四半期の売上高は+186億円の増収

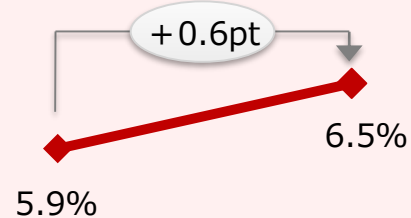
## 介護・シニア事業の売上高・営業利益率の推移

営業利益率

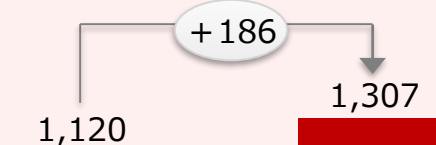


### 第3四半期の推移

NDソフトウェア社統合効果が主因



NDソフトウェア社統合効果 (+140億円) や入居率の上昇が主因



2022年度

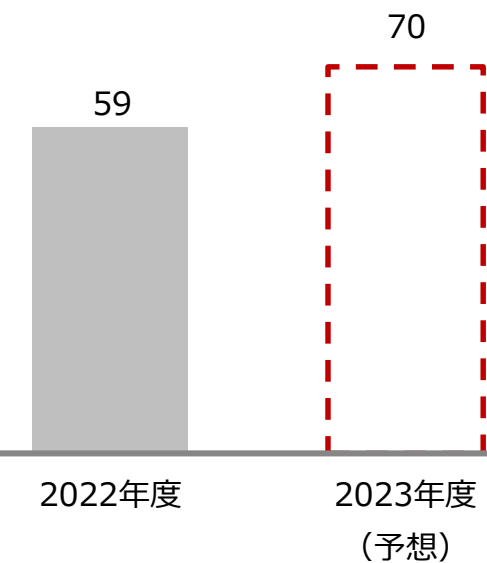
2023年度  
(予想)

2022年度  
第3四半期

2023年度  
第3四半期

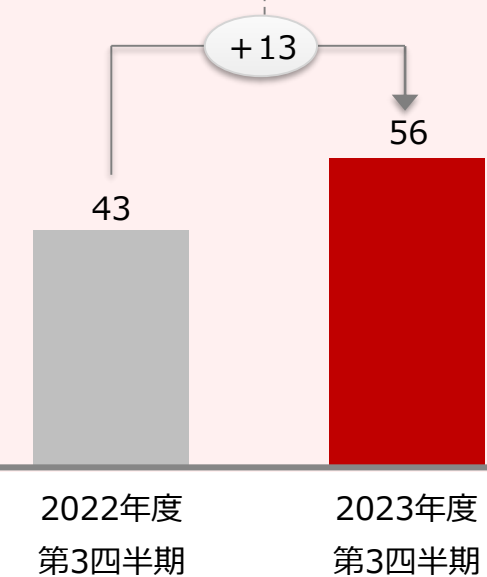
## 介護・シニア事業の修正利益の推移

(億円)



### 第3四半期の推移

NDソフトウェア社統合効果が主因



2022年度

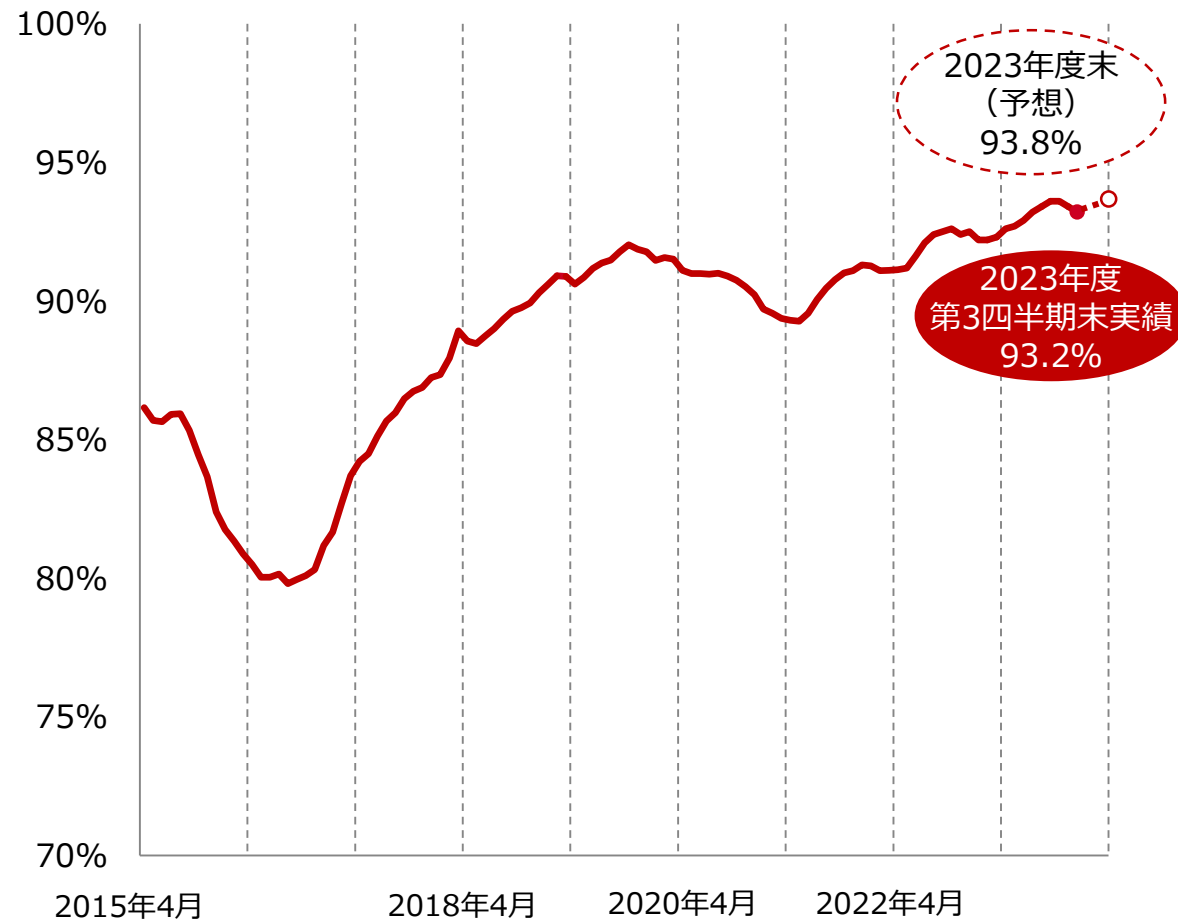
2023年度  
(予想)

2022年度  
第3四半期

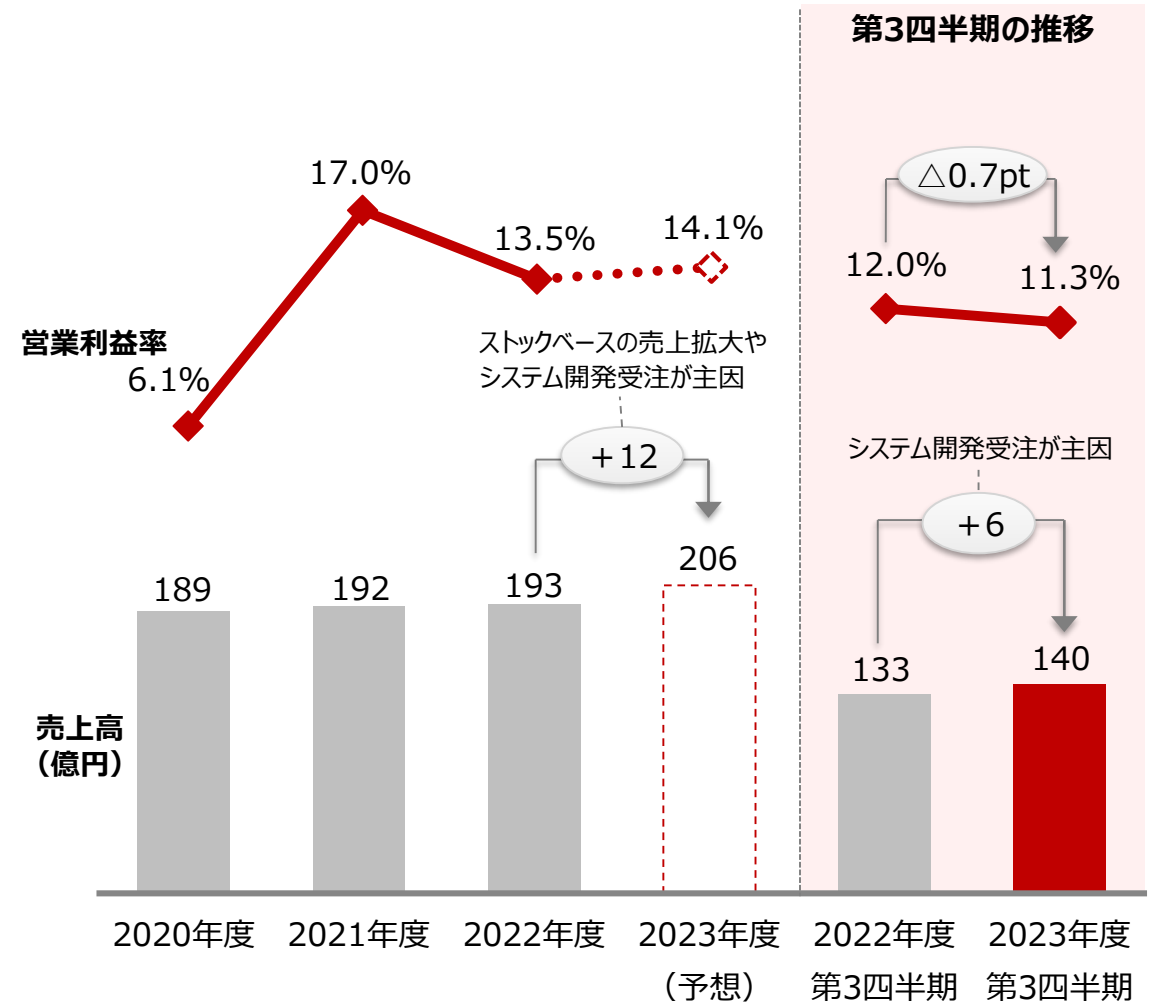
2023年度  
第3四半期

# (参考) 入居率・NDソフトウェアの業績概況

## 入居率※1※2の推移 (SOMPOケア)



## NDソフトウェアの業績概況※3

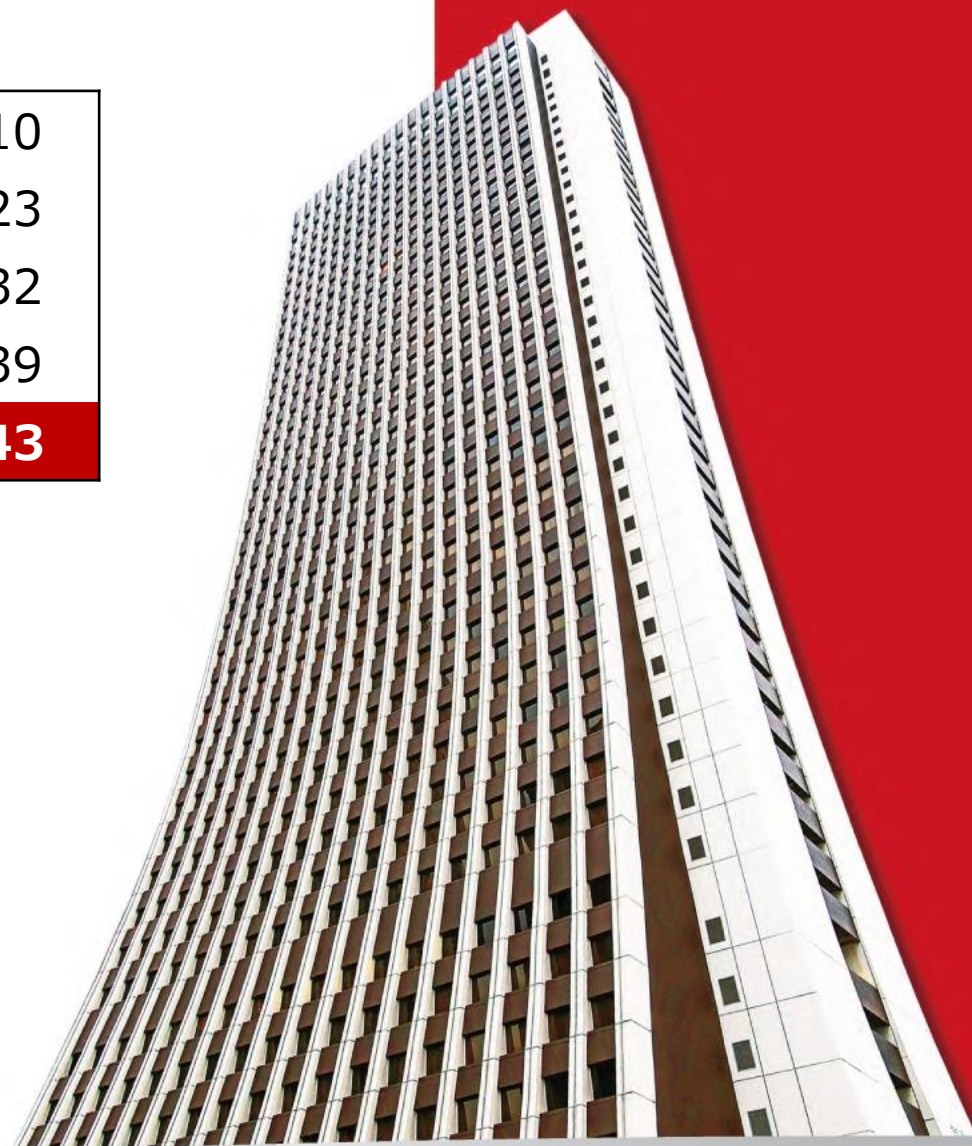


※1 入居率 = 入居者数 ÷ 施設定員数  
 ※2 旧SOMPOケア・旧SOMPOケアネクストの入居率を統合して記載

※3 NDソフトウェア連結ベース

# 事業別詳細

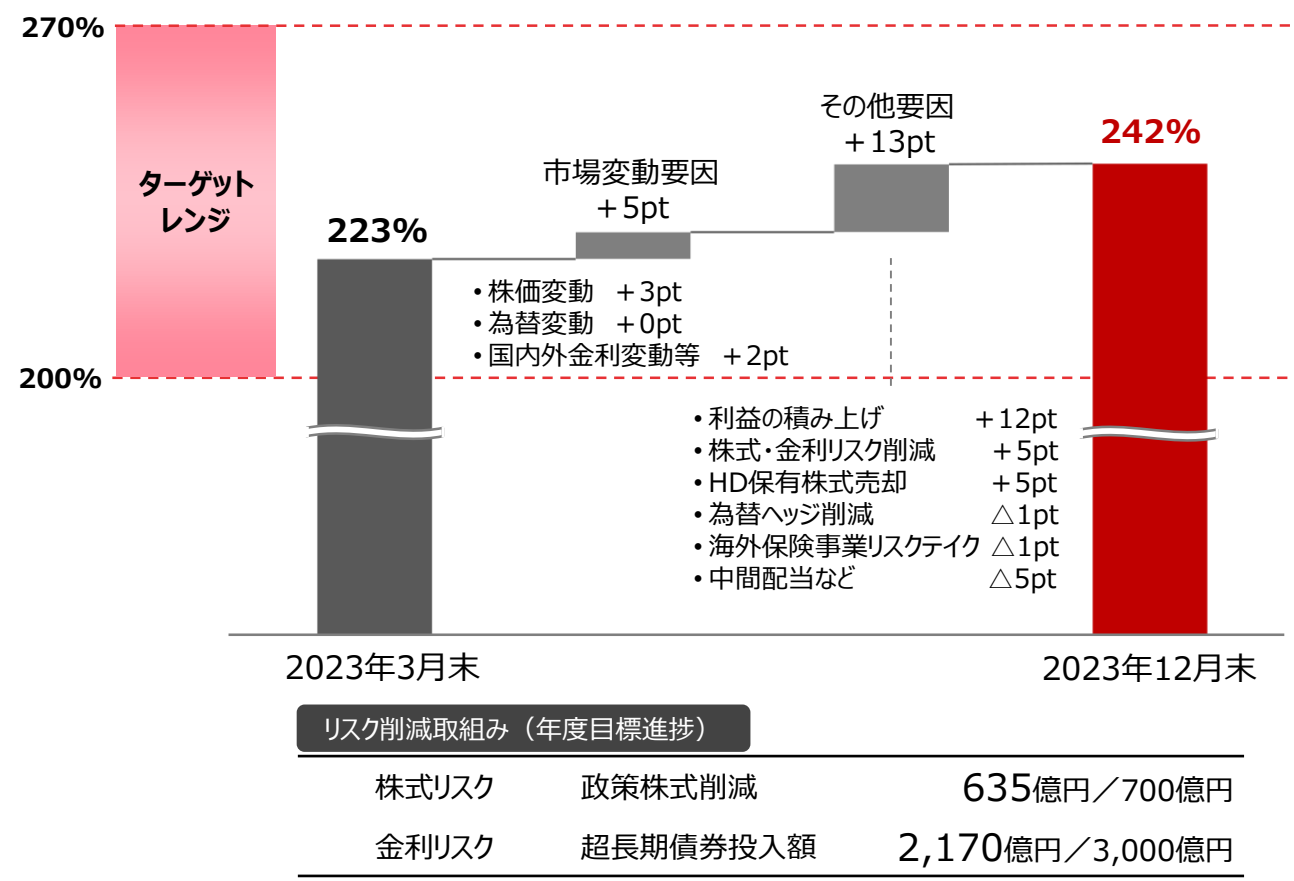
国内損保事業（損保ジャパン）	10
海外保険事業	23
国内生保事業	32
介護・シニア事業	39
<b>ERM</b>	<b>43</b>



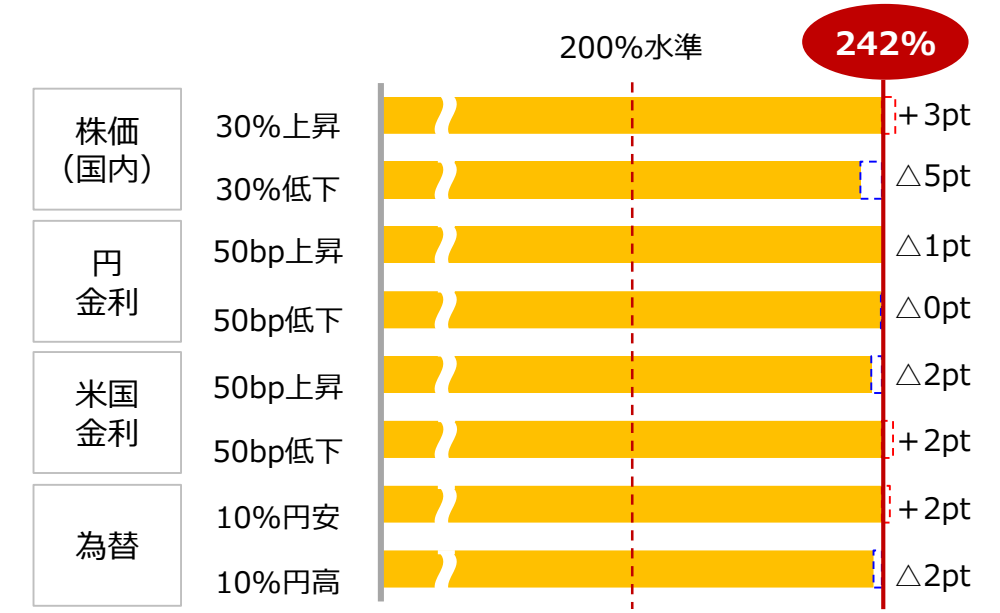
# ESR (99.5%VaR)

- 利益の積み上げや株式リスク・金利リスク削減等により、ESR水準は2023年3月末対比で19pt上昇の242%

## ESR (99.5%VaR) ※1の推移



## ESR (99.5%VaR) の感応度分析 (2023年12月末時点)



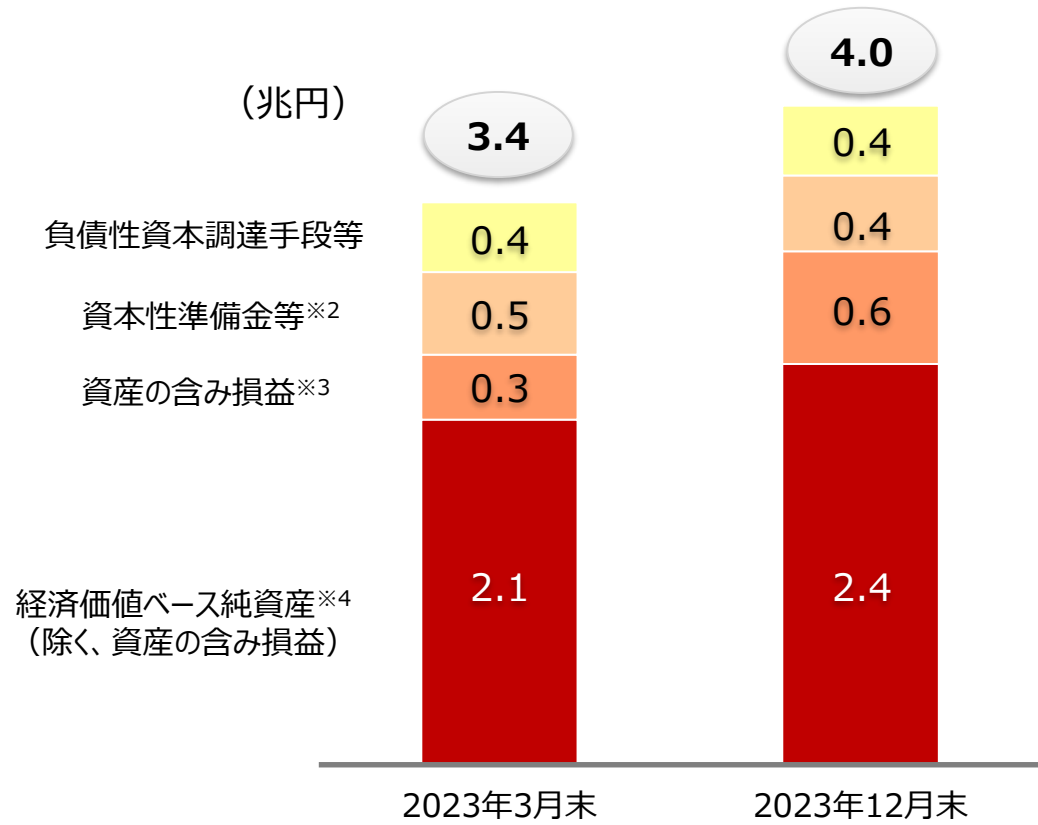
(参考) 市場環境	2023年12月末	(増減※3)
国内株価 (TOPIX)	2,366.39	(+18.1%)
国内金利 (30年国債利回り)	1.66%	(+36bp)
米国金利 (10年国債利回り) ※2	4.57%	(+70bp)
為替 (米ドル円レート)	141.83円	(+6.2%)

※1 ソルベンシー II に準拠した算出方法

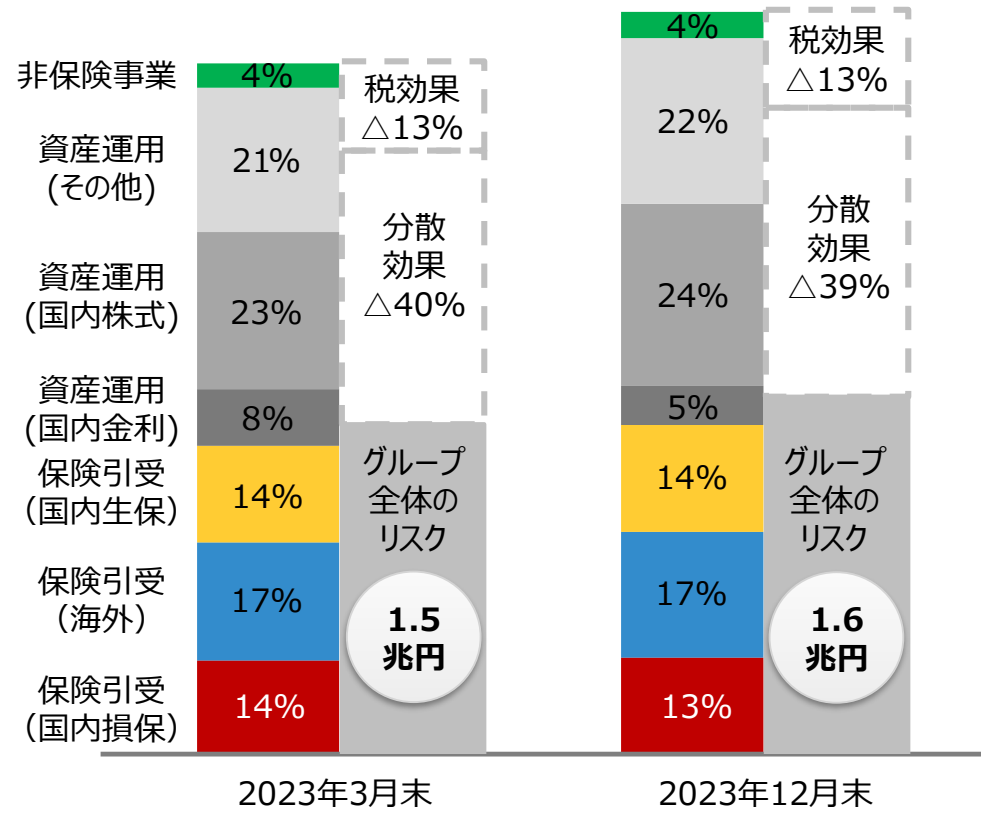
※2 2023年9月末数値、増減は2022年12月末対比  
 ※3 2023年3月末対比

# (参考) 実質自己資本・リスク量のブレイクダウン

## 実質自己資本※1



## リスク量※5

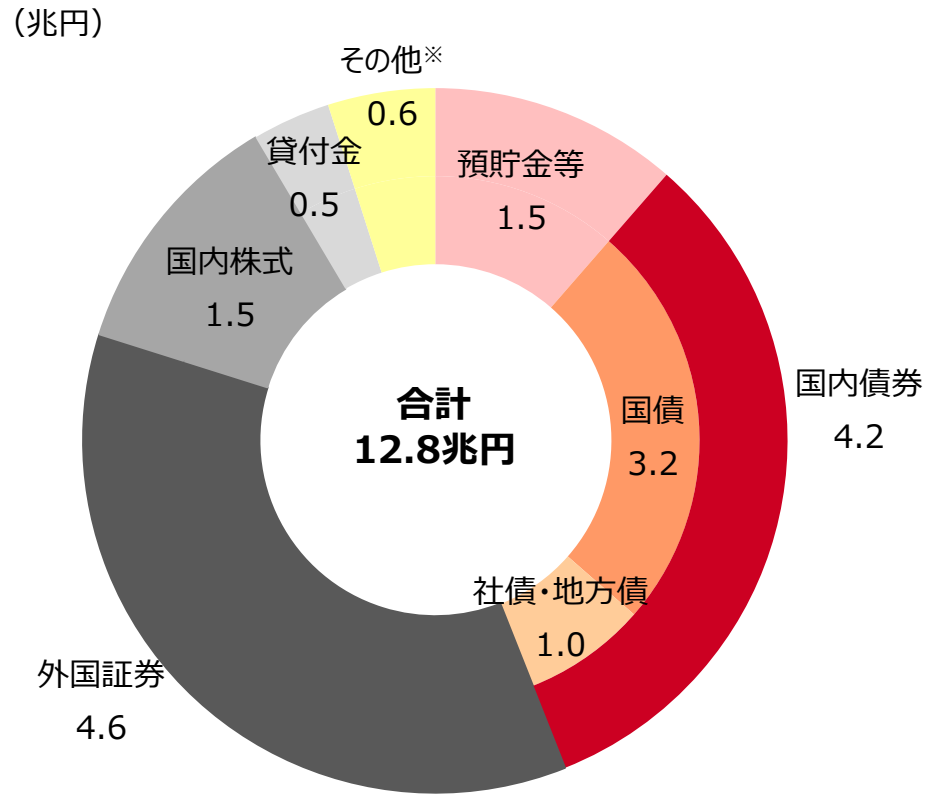


※1 実質自己資本 = 単体BS純資産合計額 + 保有契約価値 - のれん等 + 時価評価しない資産の含み損益 + 資本性準備金等 + 負債性資本調達手段等  
 ※2 価格変動準備金、異常危険準備金等 (税引後)  
 ※3 時価評価しない資産を含めた有価証券等の含み損益  
 ※4 単体BS純資産合計額に生損保の保有契約価値等を加算 (のれんや非支配株主持分等は控除)

※5 リスク量は保有期間1年、99.5%VaRで計測  
 リスク要因毎のリスク量：リスク要因間の分散効果等控除前 (税引前)  
 グループ全体のリスク：リスク要因毎のリスク量合計 - 分散効果 - 税効果

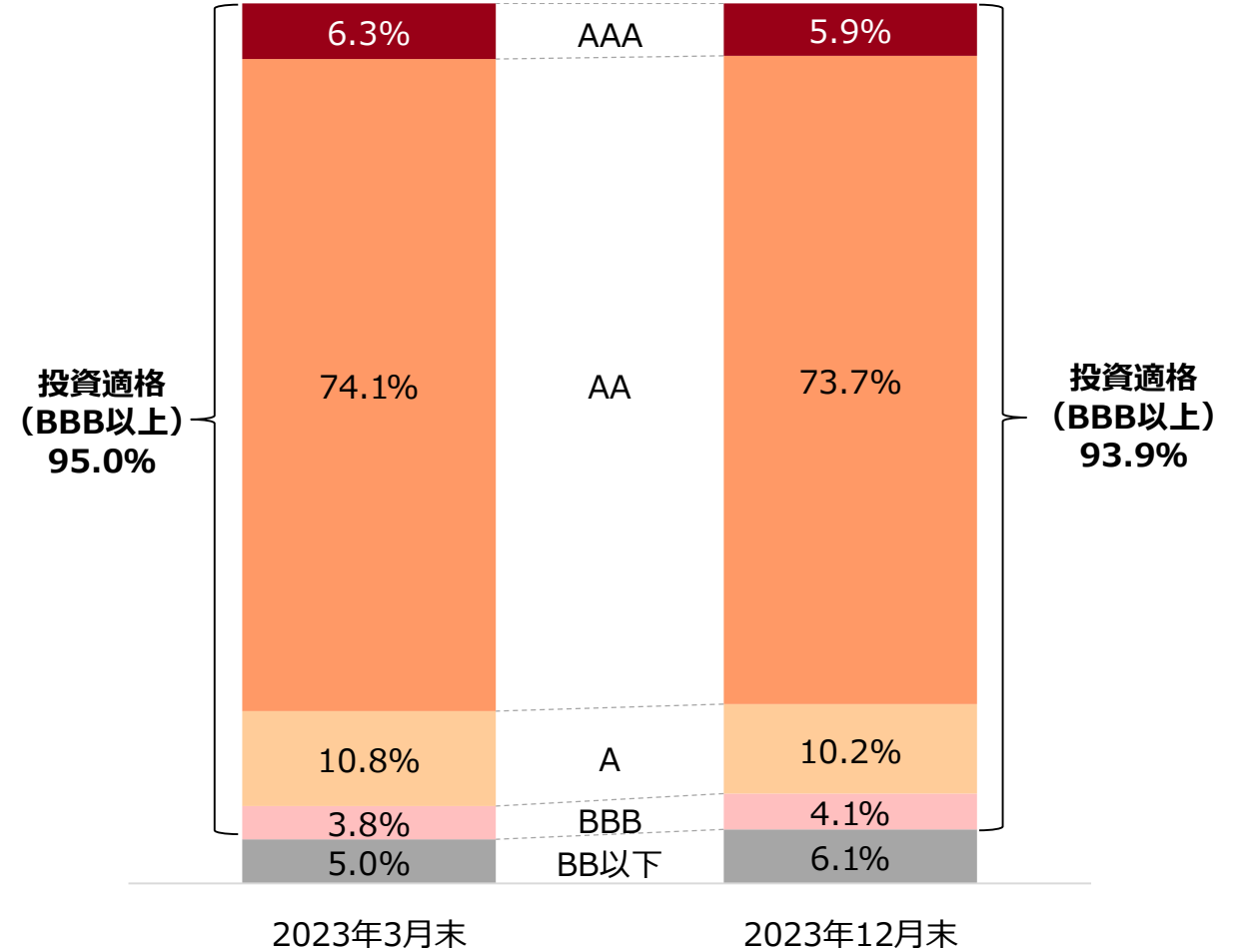
# (参考) 資産運用ポートフォリオ (グループ連結ベース運用資産)

## 運用資産額 (2023年12月末、グループ連結ベース)



※ “その他”は土地・建物、非連結子会社株式など

## グループ資産格付構成 (債券その他)



## (参考) 経営数値等

### 経営数値等

(単位：億円)	2023年度第3四半期		2023年度
	(実績)	(対前年増減)	(予想)
国内損保事業	750	+ 542	580
海外保険事業	1,286	+ 809	1,680
国内生保事業	299	+ 210	400
介護・シニア事業	56	+ 13	70
デジタル事業等	33	+ 15	30
<b>合計 (修正連結利益)</b>	<b>2,426</b>	<b>+ 1,591</b>	<b>2,800</b>
<b>修正連結ROE<sup>※3</sup></b>	-	-	<b>10%以上</b>
ROE (J-GAAPベース)	-	-	14.6%

※1 事業部門別修正利益は、一過性の損益またはグループ会社配当等の特殊要因を除く

※2 一過性の変動要素を除いたOperating Income (= 当期純利益 - 為替損益 - 有価証券売却・評価損益 - 減損損失等)

※3 修正連結ROE = 修正連結利益 ÷ 修正連結純資産 (分母は、期首・期末の平均残高)

修正連結純資産 = 連結純資産 (除く国内生保事業純資産) + 国内損保事業異常危険準備金等 (税引後) + 国内損保事業価格変動準備金 (税引後) + 国内生保事業修正純資産

国内生保事業修正純資産 = 国内生保事業純資産 (J-GAAP) + 危険準備金 (税引後) + 価格変動準備金 (税引後) + 責任準備金補正 (税引後) + 未償却新契約費 (税引後)

### 修正連結利益<sup>※1</sup>の定義

#### 国内損保事業

当期純利益  
 + 異常危険準備金繰入額等 (税引後)  
 + 価格変動準備金繰入額 (税引後)  
 - 有価証券の売却損益・評価損 (税引後)

#### 海外保険事業

Operating Income<sup>※2</sup>  
 なお、持分法適用関連会社は、原則当期純利益

#### 国内生保事業

当期純利益  
 + 危険準備金繰入額 (税引後)  
 + 価格変動準備金繰入額 (税引後)  
 + 責任準備金補正 (税引後)  
 + 新契約費繰延 (税引後)  
 - 新契約費償却 (税引後)  
 - 有価証券の売却損益・評価損 (税引後)

#### 介護・シニア事業

#### その他事業

当期純利益

#### デジタル事業

当期純利益  
 - 投資に関する売却損益・評価損 (税引後)

## 将来予想に関する記述について

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

### 【お問い合わせ先】



SOMPOホールディングス株式会社

#### IR室

電話番号 : 03-3349-3913

email : ir@sompo-hd.com

URL : <https://www.sompo-hd.com/>